俳社
季寄
四季名寄
全

名所入

高井蘭山翁校正

俳諧四季名寄

江戸書林 蘭茂堂英氏梓

正月

俳諧四季名録 時令異名

春

太皞帝 勾芒神 蒼天 東君 青陽

韶光 韶景 媚景 上春

太簇律 立春節 雨水中 孟春 夏正

睦月 王春月 陬月 太郎月

初空月 初霞月 早緑月

年端月 暮春月

元日

元朝 元三 三元 三始 三朝 歳朝

履端 鷄旦 覆新 堊節 正朔 改旦

東君 新春 歳首 上日

早旦 春朝 花朝 歳旦

初春 初霞 初空 初明

今朝ハ春 明の春 けふの春 花ハ春 子代の春
御代の春 君の春 四方の春 宿の春
年頭 年のはじめ はつとし 三乃朝 三孔始 日ハはじめ
四方拜 元、 星唱 ヒトフ 歯固 ハガタメ 餅鏡 モチヒガミ
供御菜 ニスヲ 菜子 屠蘇 トソ 白散 度嶂散 椒酒 シヤウシユ 椒柏酒 椒觴
柏葉酒 椒盃 桃湯 朝賀 奏瑞 小朝拜 朝賀
椒盤
元日節會 とよのあかり 諸司奏 七曜御暦 シチヨウ
國栖奏 クズノ笛 氷様 コホリノタマシ 腹赤奏 ハラアカノ 院拜礼

祇園削掛 ギヲン ケツリカケ 元、寅ノ刻 歳徳神 元方棚 エハウダナ そしなか
明ノ方 元日不開戸 門の神棚
門松 立松 かさり松 門かさり 飾竹 カザリ 門の竹 かぢりまち
注連飾 シメ 飾縄 飾炭 掛むしろ
飾海老 いせえび かざる 掛鯛 昆沙門功徳経 元、
若水 井ひらき 和手水 包井 井華水 ゑむすぶ 若水手桶 大服 オホブク
若餅 鏡餅 太箸 フトバシ

雜煮祝　かんを祝　芋のうえ　芋頭　殆ひ昆布
大根かゝゝま　開牛房　算木牛房　開豆　丸黄
花がつを　蓬莱飾　喰摘飾　穂俵
榧かや　搗栗　串柿　橙
柚柑　柑子　橘　歯朶
楪　穂長　裏白　昆布
野老　海老　慰斗　ところむれ

科の物　梅干祝　俵子　田作
小殿原　押鮎　海羸身　數ノ子
螺肴　串貝　門ノ礼帳　上辰ノ秡
夷廻　夷ハ紀ニ云クハイライシのことなり　大黒舞　春駒
鳥追　傀儡師　猿曳　葩煎賣
年男　庭竈　福藁布　福沸　四、七、
やしま　毬打　神ぎちゅうぶりくまわり　破广弓　ちゆ矢

羽子板（ハコ）　はぎ板　はぎの子　たねつく　胡鬼板　やりたご　たね
手鞠（てまりつく）　福沸（ワカシ）　ふくなべ　弓始
花びらき　湯殿始　飛馬（ヒメ）始　着衣（キソ）始
船乗初　ふなこ　舟玉祭　幸木（サチギ）　幸竈（サチカマド）
藁盒子（ワラガフシ）　三物連歌　発句　招才三を三ツものといふ　裏白連歌
裏白俳諧　三物賣　去年　今年
むかふ年　ふるとし　新年　はつとし　紀年　若夷年

明る年　霞の年　はつとし　春　あらたまの月　はつとしのこし
年立かへる　はつ夢　年礼　年始状
初鳥　初雞　寐積（イネツム）　いねあぐる　宝船敷
初夢　若戎（エヒス）　福壽艸　試筆
吉書初　聿初　弐毫　彈初　琴瑟　琵琶　三弦　箏　吹初
舞初　松雕子　謡初　商初
賣初　買初　店卸　帳絨（トチ）　帳書　帳祝

歳且開　節小袖　節振舞　朝節
夕節　女礼　注連の内（松の内）　春永
初芝居二、　千壽万歳（大和スルカ）　御降元、ノ雨
水祝　懸想文賣（ケサウブミ）　桃符（タウフ）邪鬼ヲ退　桃板（トウハン）仝
桃梗（トウカウ）　仙木　神茶鬱墨（シントウツルヰ）皆つ戸を建て鬼魅を畏しむる咒之
画雞を戸上ニ貼ス　葦索（アシナハ）百鬼を畏　朔旦如願（ジヨグハン）　葭灰飛
春盤（バン）生菜　綵燕（サイエン）　戴春燕（イタヅク）ヲ　二ノ宮ノ大饗（タイキヤウ）二日

朝覲行幸二、　臨時（リンジノ）客二、（冥白家）　天狗宴（サカモリ）二、（アタゴ）　たらやく（三、カウ菜）をなる
玉せり（三、ハコザキ）　東叡山大黒湯（三、餅を湯に浸し糸浴の人に飲しむ）
履新（リシン）之慶（ケイ）　初子の日（子の日れ掛ひ。小松引。子の日のまつり。初子の日の玉ぞくき）
叙位（ジヨヰ）五、　六日年越　七日正月　人日七、
霊辰　人を帳に貼ス（屏風几帳の上ニ糸人形を貼すなり）
初若菜　莽（ナヅナ）芹（セリ）菘（スナ）蘿蔔（スヾロ）　蓴菜（エグ）摘
繁蔞（ハコベラ）鼠麹艸（ゴキヨウ）仏坐（ホトケバサ）
莽蒿（ヲハギ）摘　磯菜（イソナ）摘（いそ）　七種（七、七種粥）　糝（コトカケ）七くさのかつものをなるなり

菜摘川神叓七、
白馬節會七、福百足初寅クラマ山
御齋會八ヨリ十四日
女叙位八、
常陸帶神叓仝、鹿シマ
外記政始
御齋會内論議十四日

箕面富七、セツ
畚卸仝、クラマ山より火ずみを畚ニ入てつりおろれ
真言院御修法上ニ仝、皆七、の男禁裡で行る
女王祿八、
縣召除目十七
男踏歌仝、かざしのまゝ

御弓奏七、
大元師法仝、
戎祭十、セツ、
卯杖仝、カモより
八幡御弓十五、

十四日年越
三毬打爆竹。松盆。
上元十五、
小豆粥祝仝、
枚岡御粥仝、カハチ
花を作りてかさしとゝ
賭弓十八、

削掛挿
どんど みそどんど吉書上ル
花燈夕御薪仝、
小正月元和元宵 元夕十五、
女踏哥十六、夜女声よく風ふを
獅子頭神叓十六、イセ
厄神詣十九、ヤハタ 蘓民将来

綱曳
土竜打
粥杖木粥杖柱仝、
三保祭仝、スルガ
かぢしの孫たふうに
藪入十六、六餅 走百病
吉田清祓仝、

法花三昧會 十八、エト 浅中　女節分 十九、　廿日正月

鏡ひらき 鏡保剳　具足鏡開 仝　骨正月 仝　天穿 テンセン 仝、煎餅 ツナグ

嚴嶋詣 イツクシマ 下ノ吏　御忌 十九、ヨリ 廿五、ニテ　内宴 廿一、　初天神 廿五、

初不動

余寒　春寒　冴 サヘ 久しき　凍解 イテドケ

凍くる　氷解 氷ながら 氷のひま　残る氷 こその氷　魚上氷 ニ

残雪　春の雪　残雪　名残の雪

雨水　春ノ山　春ノ海　山笑

雪解水 雪写 雪下 雪けい　獺魚 カハヲソ を祭ル

若菜 みどりの ゆかり　水入菜 水菜。京菜。子代 こづな　根白草 せり ねせり

嫁菜 嫁がれ　とちぎ指　鶯菜　下萌 シタモエ

葑薹 クヾタチ　むこだく　土筆 つくし 筆つぎれ　罌子 ケシ 若菜

若草 初草 新草　草のゆかり 弱くる草　落薹 フキノトフ　木の芽 メ

草萌 クサモエ 古中　松花 十くり 花　若緑 初みどり みどり立　野大根

堀入　畑寺 畑くれ　田をまく　種物 種まづめ

梅 花の兄 白むめ　まつげ草 白ひ草　香散見中 この花　飛むめ

いひふしの花 こめこしの梅 臥龍梅　好文木 鶯宿梅

行幸梅 むめ屋浦 梅ヶ香　未開紅 ミカイカウ セイクハン 寺　万歳乐 バンズラタ 春鶯囀

梅ゑんらふ 大芹うとふ 青梅うとふ

猫の妻恋 孫てさるる 仇猫 つまを猫　鳧さるる　蜆 シヾミ

浅蜊 アサリ　白魚 めざし 鮊 鮴角 しらをれ　鶴庖丁

町汁　廿日だんご　干蕪 カラ　干大根

子の日 子衣　梅の花衣 梅ゑさくハ表流紅裏衣 紅梅花衣ハ表白　鶯袖 衣の猿絵 なる袖へ

柳の衣 表白 うらまき

○追加　上野御成 十、エト　埋火神支　加古の物ゑづめ 元、八十

大井川濁酒 ニゴリ 今、　蛙飛の祚るす 今、スハ　柴神乐 今、ナラ

掃初 ハキ 二、　戈丸忌 今、　亀戸妙義参 初卯日

直會祭 十ヲエ 七、ビ州中シマ　淀屋橋祝美商 二、大坂米相場

鉢扣出 ハチタ、キデタチ 五祝美 八、空也堂　観音温座祈禱 七益夜エド 渉草

相馬墨塗（スミヌリ）十四、蠻玉（イダマ）仝、　伊勢の世ためし仝、牛玉出（ゴダセ）仝、六時堂

三社神支流縞馬有牛王出ル（エド渉草）十四、　鬼追（オニオヒ）仝、檣ノ圭写山　又エト浅ヤニモアリ

御連歌會十一、　初瀬ゟたる押仝、　義仲忌十五、　十六日桜イヨマツ山

面かぶる（シナノ）　八皿酒（ヤサラ）奥ノナンブ　初子の菜碗　相馬家

万代精進（シヤウジン）元ヨリ七、マテ　イヅミ万代村　柳ゟ花　花びらぬこと

○三春に渡るもの　佐保姫　霞（まがすき）八ヶ雲

一ヶかすき　霧ぬうき　朝がほき　霞の洞　霞汲

霧のあき　夕霞

鐘ゟ鳴む　長閑（ノドカ）　麗（うらうら）　暖（アタカ）

ぬくやし　水ぬるむ　糸中ふ（いと柱ふ）　陽炎（ヤウエン）かげろふ

永日　暮おそれ　遅き日　暮ゐる　春ゟ色　東風

春風　春雨　春の宮　菊春ゟ

春ゟ春ゟ　春ふかしや　春ゟぬ　春ゟぬ

春ゟけて　落梅曲　梅が枝訊ふ　春ゟ梅訊ふ

風光ル　椿（ひつぎれ）いせつぎれ　白玉椿　つらくつぎさ

飛入つぎさ　ちびすけ・椿侯椿沙ハ雑也

柳 まき柳・川柳・川添柳・芽ちり柳・瘤柳・玉柳・川洗柳・ちらり柳・いの柳・ちぶ柳・そこ柳・柳髪・柳眉・柳の糸・ゑの小柳・さし柳・風ふん草・かくれ草・柳獨・柳の水ハ雜之

芹 三葉 丘芹 根白草

苣 唐苣 川苣

菠薐菜 防風

独活

山葵

茲姑 馬ゑゐ

搗草 雜菜つむ

山椒皮

木地炉縁

聖老堀

百千鳥

鳥啼 水ゐ啼

雉子 野雞

鶯 經よみゐ 人来ゐ 黄ゐ 糸よみゐ 今衣ゐ 白ひどり 鶯電 ゑ見ゐ ●霧厂霜子ゐ 枯木ゑ 結ひても 青之

鶯 琴引ゐ てりうそ

駒鳥

雲雀 ひぐり電 ひぐり床

聖山を焼

鰆

鱒

亍鱈

洲蛤

目刺

海雲

鹿尾菜

若布

海苔 まのり黒のり 海草のり とさらさらのり かたのり

水松

相良布

雪解 雪あぶれ 雪水

繪ぶく

二月

夾鍾律 驚蟄節 春分中 春半 仲春 令月

陽中 如月 衣更着 梅見月 梅つき月

梅津月 雪解月 小草生月 初花月

中和節

花朝一、

献生子一、

二日灸

吉野餅配一

日光御鏡開 一、エド　初午　水間祭 仝、イヅミ
東福寺懺法 上午　本妙寺詣 仝、アラミ　摩耶參 仝、セツ、一ヤ昆布
行基參 二、セツ、　春日祭 上申 ナラ　二月堂行 一、ヨリ十四、一デ ナラ
同水取 十二、松明　薪能 七、ヨリ十四、一テ ナラ 芝能 若宮能　大原野祭 上卯
八幡初卯參 山シロ　園 并 韓神祭 上セ
釈奠 上丁　事納 八、　祇園御八講 八、比良八講 八、アミ
祈年祭 四、　列見 十一、　遺教經會 九、ヨリ十五、一テ 訓読會

涅槃會 十五、孫ゑん像さうし仏 仏如ゑうれ 二月ノ別　西行忌 仝、　常樂會 仝、ナラ
餅花煎 仝、　嵯峨柱炬 仝、　積塔 十六、　雪の果 ゑきのゑうれ
貝寄 廿、セツ、 うひよせの風　踊念佛 ヒカン中、セツ、 四天王寺
圓宗寺最勝會 十九、　聖霊會 廿二、セツ、 四天王寺　浅間祭 仝、
北野御忌日 廿五、山シロ 菜種御供　道明寺祭 仝、カチ　吉祥院八講 仝、洛
亀戸天神花踊 仝、エド　季御読經
時宗踊念仏 ヒガン 御影堂　社日　社翁ノ雨

彼岸（ヒガン） 六ツ[illegible]エド 目黒九品仏参リ
初雷（ガミナリ） 虫出し
初電（イナビカリ） いかひかりト 斗雑々
朧月 おほろかげ 撥斗雑々
二ノ替リ シバ井
八巾（イカノボリ） とびのぼり たこ[illegible]げる
出代リ
苗代 かりしろ 茱萸（グミ） なりしろ垣
水口祭 田の水口を祀
種井 たゞ浸 たねふせる たねおろし
種蒔（タネマク）
藍蒔（アヰ）
麻蒔
狗脊（ゼンマヒ）
蕨（ワラビ） [illegible]
紫塵
蒲公（タンホヽ）
枸杞（クコ）
鞁草（コサウ） つゞみぐさ
五加木（ウコギ）
虎杖（イタドリ）
薊（アザミ） 鬼あざ[illegible]
韮（ニラ）
蒜（ニンニク）
胡葱（アサツキ） 刈葱
野蒜（ノビル）

水葱摘（コナギツム）
薺（ナヅナ）ノ花
菜大根花（ナタイコンノ） [illegible]の花・[illegible]菜 [illegible]
茘紫（ひらされ） [illegible]
連翹（レンゲウ）
五味子（ゴミシ） さねか づら
鬘艸（カツラ）
蓮の根堀ル 蓮うゑる
鴨御花（イテフノ）
燒野 畑燒・芝燒・山燒
末黒の薄（スヽキ） [illegible]の薄
荻の燒原
荻の燒原
荻の末黒（スグロ）
芳宜の稚葉（ハキワカ）
草の[illegible]
草芳し（カフハ）
刈生ノ芒
切刈ノ芒
青[illegible]
角組芦（ツノグムアシ） 芦の角[illegible]の維 [illegible]と本雑之
種芋（タネイモ）
杉菜

松菜　芽花（ツバナ）　蓬摘　接骨木（ニハトコ）の花

銀杏（イテウ）の花　紅梅 越中仝 八重仝　黄梅　座綸毒

さくら梅　初桜　彼岸桜　糸ざくら

一重桜　姥桜　熊谷櫻　児げくら

犬桜　八重ざくら　花を待　接穂 接木

菊の苗（ナヘ）　菊若葉　菊根分ル　蔦の新紫

薮（ヤブ）蒼（ソバ）す夏　山櫻

燕（ツバメ）　つけめ渡ル　つばめの巣　雉子（キジ）　きらはすぐねる　鳥の巣 古巣

白鳥（カネ）　果鳥（ハコトリ）　かほよ鳥　引鶴

引鴨　帰雁（カヘルカリ）　厂の名称。今のの厂。北へ行厂。いぬる厂。厂の別。厂風呂　雀子（スヾメノコ）

孕雀（ハラミスヾメ）　取すぐら雀の巣　松むし　卫鳥　苔むし卫鳥　朝の鷹

白尾鷹　継尾鷹　佐保姫鷹　泊り鷹

泊り狩　泊り山　鳴鳥狩　きさす魚鳥

鈴こさす　鷹化テ鳴と成

孕鹿（ハラミシカ）　鹿角落
蜂（似我蜂シカバチ）　蛇（あぶ）
蛇（ヘビ）　蛇穴をかル
石龍（カゲ）出ル
螈（トカゲ）
地虫穴を出ル
蝶（てふく）　胡蝶
鳳車蝶（アゲハノ）
蛙（蝌手ヲタマジヤクシ）　蟇（ヒキ）
青蛙　雨がへる
馬刀（マテ）　まてがゝ　まてぐし
寄居虫（ヨウナ）
蜷（ニナ）
やごり貝
田螺（タニシ）　たゝし鳴
亀鳴　月さゆれハ鳴
諸子魚（モロコ）
初鮒
飯蛸（イヒダコ）
鮡子取（ニシン）
治聾酒（ヂロウシユ）
鮒鱠（フナノミクリミ）　ふなよト斗雑也
蒸鰈（ムシカレイ）　うれいト斗雑也

○追加
鬼押（オサヘ）　一、イセツ
烏祭（カラスマツリ）　上未ヲハリアツタ
清盛忌　四、洛六ハラ
湯島天神砥（ト）餅（モチ）　十、エド
兼好忌　十五
元政忌　十八
利休忌　廿八
俗洗（フクロアラヒ）　酒造
百日男帰ル
温種（アタメダ子）
大角豆蒔
厩出（ウマヤ）シ　雪ふこたり
孔子祭　エド聖堂ニテ　春秋ニタビ
阿蒙陁（ヲランダ）人来ル

三月

姑洗律　清明節　穀雨　中季春　竹秋　病月
禊月　桜月　花見月　春惜月　弥生
九春　未春
晩春　春杪

經供養 二、セツ、四天王寺エンノシタノ レイ人ノ舞楽 寒食 杏粥、青飢飯、青精飯、棗粥、楊花粥、桃花粥、

上巳 三、重三、元巳、上除 巳日祓 須广御祓 桃花節

桃酒 白酒 草餅 蓬餅 菱餅 雞合 三、

雛遊 紙雛、雛飾、雛祭、雛市、立雛、内裏雛、 踏青 野ニ接ふ 油花ト

曲水 流觴、巴字盞、羽觴を飛ば 御燈 三、 柳鬘

柳太刀 鞦韆 ブラコ、 汐干 三、ヨリ七、マテ セツ、住吉 哈ニ下る 仝 哈とり

土佐海硯石取 仝 石山祭 仝、アフミ 粟津祭 仝、仝

一乗寺祭 五、洛 修學寺祭 仝、 水尾祭 九、タンバ 高尾法華會 十、

安良比花 仝 吉野會式 十一、 茱師寺寛勝會 七、ヨリ十三、マテ 野州

泉涌寺開山忌 八、九、洛 礼拜講 十三、エイ山 稲荷御出 二年 洛

石清水臨時祭 南祭ト称ス 八、 善導忌 十四、 花鎮祭

祇園一切經會 十五、 壬生念佛 十四、ヨリ 廿四、マテ

壬生祭 千本念仏 洛 比良祭 十五、 梅若祭 十七、エド

木母寺大念佛 仝、エド 嵯峨大念佛 九、ヨリ 十五、マデ

勸學會 十五、 人麿祭 十八、 三社祭 十七、ビン座たゞ前 箕市エド海草

本門寺千部 十八、ヨリ廿七、マテエド池上 御身拭 十九、サガ

仁和寺御影供 廿一、洛 高雄女詣令 順峯入

永代寺山開 廿一、エド深川 御影供 小弓引

花 花盛、花曇、花雲、花雪、花浪、花滝、花守、花山、花吹雪、花錦、花鳥、花見、花宿、花戸、花主、花心、花肌、花唇、花篭、花車、花筏、花入、花桶、花筵、花瓶、花笠、花香、花乃雨、花衣、花宴、花都、花笑、花軍、飛花、落花、花鈴、花ひら、花園、櫻家桜、八重桜、曽賢像、杉光妃、墨染桜、虎尾、伊セ桜、雲珠桜、江戸桜、監がま桜、金王桜、右ヱ門桜、哥仙桜、桜がり

秋色桜、人丸桜、手鞠桜、桜戸、桜田、さくら人、夏見菓、曙艸、ようのぐさ、仇名菓、雲井桜、不行桜、さくら桜、かざし菓、

桃花 白桃、緋桃、源平桃、西王母、姫桃、糸桃、 海棠 ねむれる花 かうかし 蘋枋花

李花 杏花 林檎花 櫻桃花

小梅花 石楠花 梨花 棠梨の花、浦かしの花

木瓜花 楊梅花 馬酔木花 長春

沈丁花 辛夷 躑躅 山てじ、餅てじ、岩てじ、岡てじ、姫てじ、阪てじ、源平巳、きり鴻

藤 ふぢ浩、白ふぢ、夏かつら、下り夏、夏柏、ふぢ網、ふぢの丸、夏つる、ふぢ瘤、 通艸花 小粉團花

山吹 茶蘼花・菓山吹・おなけ菓・八重山吹・白山吹・いもに似る菓・
春菊 高麗菊 東菓
春蘭
仙臺萩
水蕗ノ花
馬闌
金鳳花
丁子草
化偸草
桜艸 九重ん菓 七重菓
金盞花
胤麹艸
莖 壺すみれ 白をうれ
眉作花 あざみ
五形 ゲバナノ 菓花菓
芽花
青麦
菓子 拙かえ
若蒋
櫁花
菓耳
蘘荷笋
柿薹 つくだ おぎのこ
茶摘
利茶 手もじめ
青葉
弥生山 名所 あらし

束花
果櫚花
庭梅
令法
糈草
雪柳
葉桜 又夜花有
菜子紫摘
けまん菓
母子菓
あにすぐ
三月菜
三月蘿蔔
草摘
萍初テ生ス
麦鶉 ヒヽナキ うつゝの巣
雲入鳥
鳥帰ル
鷹ノ巣
時鳥の巣
田鼠化為鶉
鳶ノ巣
引残鶴
老の鶯
呼子鳥

桜魚 さくら鯛・さくら鯛・さくら貝
小鰷 若鮎・柳葉の魚
春雨 八十八夜
めかる時 蛙ふねむる
桜衣 さくらぎさね
行春 春のすゑ・暮春・惜春・春限・春湊・春の名殘
夏近し 夏を待 夏のこなり
○追加
柳鮠 上簗
蜑 蚕飼・飼屋・蚕棚
忘霜 別霜
山吹衣 うら山吹・まき山吹
つゝじ衣
春ノ暮
隠元忌 三ウヂ 黄ハク
鷺杜競馬 五洛
初瀬千部 三ヶ 十一迄

墨直し 十二洛 双林寺
十三叅 十三サガ 法リン
蓮如忌 廿五
宗因忌 廿八
尚歯會
焙炉炭下タ
仙臺ノ馬市
狐隊
春蝉
烏賊
麥の花
芹の花
楓の花

四月

夏
炎帝 帝 祝融 神昊天
朱明 長贏 蒸砂
仲呂 律 立夏 節 小満 中 跰蹟 孟夏 首夏
初夏 新夏 早夏 青和 余月 乾月
正陽月 花残月 巳月 得鳥羽月
卯月 卯のな月

更衣一、　白重ふつ衣　卯ノ花衣たち花衣あふひ衣
初袷あハせ　綿貫　夏羽織　下帯サゲオビ
青簾一、　孟夏旬一、　筑ノ广祭チクマ一、或云初午アフミ端まつり
貴船神支仝、虎状ゝゝべ　供氷スヲ仝、　住吉卯ノ祭上卯セツ
大神祭オホガノ上卯ヤマト　稲荷祭中卯山シロ　龍頭太リウタウダ仝、　山科シナ祭上辰山シロ
八瀬祭ヤセ仝、　堅田祭カタ上巳アフミ　多賀祭二午イ上巳アフミ
手安天神祭テヤスノ午、アフミ　平野祭上申洛　當广祭タヘマ仝、ヤマト

杜本祭モリモト仝、カワチ　梅宮祭仝、ヤマシロ　松尾祭上酉ヤマシロ　當宗祭ハサム子仝、カワチ
大津祭上亥大ツ　吉田祭中子　山嵜日の使ヒ三、山シロ
水屋の能四、五、ナラ　廣淞　竜田祭四、ヤマト此支社八円祭なり
擬階奏ギカイノソウ七、　灌佛クワンブツ八、仏生會甘水　龍華會五香水　浴仏花御堂　仏産湯
戒檀堂開帳カイダンダク仝、アフミ　花摘仝、　山崎祭八、山シロ
地主祭九、洛清水　當麻練タヘマノ子リ供養十三、十四、ヤマト
伊勢神衣祭カンミツ十四、　千團子十六、アフミ三井寺

日光祭 十七、下ツケ　和哥祭 仝、キイ　土塔祭 十五、セツ、天王寺

花供 廿一、キノカウヤ　駒牽 コマヒキ 廿七、廿八、　向日明神祭 ムカフノ 辰、山シロ

久世祭 中巳 山シロ　菅宮祭 スゲミヤ 中午 アフミ　山王祭 申ノ、アフミ　國祭 中申 ヤマシロ

御影祭 仝、カモ　みあれの日 か茂のこあれ　關白賀茂詣 中申 葵笠荷ふ

賀茂祭 中酉 葵祭 葵かつら。詰かつら。あふひぐさ。御形日こなれの日。日かげかつら。日かけのいと　神祭 忌さす柳 さす柳丸

三枝祭 サイグサノ 吉、ヲえらふ ヤマト　中山祭 中酉 洛　嵯峨祭 サガ 中夾

近江八幡祭 中卯　矢数 ヤカズ 洛 三十三間堂　松前渡り

梅天 四月 梅丙　和清天　卯の花ぐさし

余花　若葉 まだハ雜なり　新樹　若葉新花

若葉ノ紅葉　若楓　まくら葉 紫の書 むすひ草

夏木立　木草茂る　木下冨　葉柳 春トモ有

紫ちくら 同　樓実　厚朴の花 ホウ　桐の花

卯乃花 うけ木の花。たてねうつ木。岩もと卯木。たつ見草。卯のむのまき。雪見中　棗の花 ナツメ

花柚 ユ　苍橘 盧橘。ことよ花。茂たちたる　白丁花

椶櫚花　繡毬花　牛棘　茨の花 花ばらの花

岩梨　岩藤　要花　天蓼

藪椿 嵐まちの花　覆盆子 木いちご。紫いちご。蛇いちご。ぶにいちご。ぶにいちご。

牡丹 北日中。家生草。深見草。名とり草。花王 木芍菜。よろひ草。

芍菜 えびす草。花宰相

杜若 かいつはさ。こほよ花。くほむ。たふの君　罌粟花 けし 坊主　美人艸

葵 二葉ふ草。蜀葵。水葵。淡なふひ。かもなふひ。もろはんき。もろかづら　立葵 小あふひ。からあふひ

常盤木の落葉　鷹爪　宝澤花

胡蝶花 著莪　紫羅傘 一八　落　白及 紫蘭

凡車花　踊花　夏枯艸　羊蹄花

羊蹄根　虎耳草 鴨足草。きんき草。久字ずり草　石蔛 せきこく。ちの下

蕙 くわり草　藺の花　樊噲艸　惠陀草

王孫花 黄絲　茶槐草 茶せん草　子日紅　山ちさの花

苣乃薹　若根　莨のたい　麥門冬

玉巻芭蕉　玉巻葛　下毛 山ちもつけ。草ちもつけ

薔薇（サウビ）　柿の花　青木花　柑子（カウジ）の花
蜜柑花　金柑花　九手母花　枳穀（キコク）花
雲州橘花　笋（タケノコ）筍（タカンナ）（タカウナ）　篠の子　綿蒔（マキ）
豆植ル　麥秋（麥の秋風）　麥苅（麥ヨウぶえ）（麥ワラウさ）
茄子（なれ）　ふんぢん蒔
杜鵑（ホトヽギス）郭公・時鳥・不如帰・久喜良（クキラ）　沓直鳥（クツテ）
冥途鳥・四手ノ田去・橘鳥・夜ゝし鳥・寒しとり
山ほとゝきは　但しおとゝ交はふ
霞花鶯　獄月ホ結ひても交之　鷹塒（トヤ）に入（こやたゝ鷹のこや鶯・たゝのこやとみ雜之）

剖葦鳥（キヤウくシ）（ヨシキリ）よくなら雀　閑古鳥（カンコ）　老鶯
鶯附子　乱鶯　蝙蝠（ヘンフク）（かはほり）故唅鳥　飛蟻（ハアリ）羽なり
蜘の子（蜘のもハ雜之）　枝の蛙　蚯引出　翡翠（カハセミ）（ヒスヰ）
蚕蛹（カヒコノマユ）蚕薄（エビラ）蚕蛾（テフ）　かざわ子（ナマブシ）　和鰹（カツホ）（うつを釣ル）（エホシイヲ）　鹿袋角
煮酒　生節　新茶　古茶
茶誥メ　新麥（麥飯雜之）
○追加　大峯ノ戸明ハ淺間ノ登山ハ鼻長（仝ナラ大仏）

靈巖(レイガン)寺千部 一、ヨリ十、マテ エド 泝川
芝祭 八、デハ 大沼ムラ
九品仏千部 三、エド オクサハ
目黒祐天寺千部 六、エド
浅草幸龍寺千部 八、ヨリ十七、マテ エド
本所龍泉寺千部 十三、ヨリ廿三、マデ エド
小松川善道寺 十五、エド 中将ヒメ 自筆の弥陀かくる
泣祭 廿、ムツノク 戸イツミ
淨心寺千部 十九、ヨリ廿八、マデ エド 泝川
池鯉鮒(チリフノ)馬市
筒(ツヽ)鳥
文鰩 トビイヲ
卯浪(ウナミ)
○三夏小渡る物
扇 雜扇礼扇ハ雜之
團扇(ウチハ)

短夜(タンヤ) みじかよ
暑
納涼
汗 疾あせハ雜之
汗衫(アセトリ) 汗帆(ヌクヒ)
日傘 青ゲさ
編笠
午睡(ヒル子)
夏篭 結友、夏行、友斷、友出、夏羅、友花、
安居
ふのり干
夏木立
青山椒(サンセウ)
蓼(タデ) ヨこん草
紫蘇(シソ)
藜(アカザ)
苕草(ハキグサ)
馬歯莧(スベリヒユ)
刈葱(カリギ)
苕草(ハキバ)
根芋(イモ)
蓴(スナハ) ぢゆんさい
海雲(ミル) みるふさ、うきゝる
蛍
蝸牛(カタツムリ) でゝむし
蛞蝓(ナメクジリ)
蠅(ハイ)

蠅虎（ハイトリクモ）　子子（ボウフリ）　蚊（カ）　蚊帳
蚊（カ）　蚊柱
蚊（ブン）　蚊母鳥（ブンボテウ）　蚊子木（ブンシホク）
蚊母艸（ブンボサウ）　蟭螟（セウメイ）　蚋（ノミ）　蚋（ノミより）　蚋（ブト）　蛭（ヒル）
水馬（ミツスマシ）　毛虫（ケムシ）　蚰蜒（ケジ）　蛇（ヘビ）
蛾（ヒトリムシ）　蟹（カニ）　青鷺（サギ）　通鴨（トホシカモ）
鷭（バン）　方目鳥（ハン）　鶇（うかひ・うはかひ・鵜川・鵜ふる・うかごつと・ゆきて・ちれきて鵜ハ雜之）
鮎（アイ）　津波須（ツハス）　目高　金魚　銀魚

鮴（ゴリ）　水鮧（エリ）　水鰻（ハモ）　魚梁（やなあり）
干鰒（フグ）　干鱈（ダラ）　塩烏絨（イカ）　鯷（ヒシコ）
洗鯽（アラセスヾキ）　鮓（スシ）一枚すし・ますし・ちりしすし・鮒のすし　切麦
冷麦（ヒヤムギ）　冷汁　煮冷（ニサマ）し　麨（ハツタヒ）麦こがし
風炉（フロ）の菓　木布　単物　内衣（ゆかたびら）
夏ノ山　夏ノ海

五月

蕤賓律　芒種節　夏至中　仲夏　茂林　蔚林
盛夏　鶉月　皐月　月見ぬ月　早苗月

五

たちぶ月　半夏　むめ色月
さみだれ月　あやめ月

賀茂足揃一、松本祭仝、アフミ　献菖蒲ヲ　菖蒲葺フク

菖蒲輿南殿ノ東西ニ立ル公事ナリ　供早瓜スワサウリヲ四、

端午重五、午節、蒲節、艾節、重午、　茱の日　艾虎ガイコ五、

艾人よもぎにて人形けものを作る邪気を去るまじなひ　蒲人ホジン上に円菖蒲にて作る　天師ヲ畫ク

儀方ヲ書ク六、四方ニ張　粽蒻ちまき、角黍、錐粽、茭粽、秤褪ちまき、九子粽、芦ちまき、さゝちまき、飴ちまき

飾ちまき　かさねり粽　飾胄カザリカブト　削掛兜、さうふ胄　菖蒲太刀　菖蒲縄

幟

菖蒲人形　菖蒲机ツクエ　菖蒲湯蘭湯

菖蒲浴衣ユカタ　蓬葺ヨモギフク　棟葺アフチ　棟佩オビモノ

茱玉五月玉、長命縷、続命縷、辟兵繒、五色縷、壽索、五綵絲、朱索、條達、條脱、以上茱玉ヲ母屋ノ左右ノ柱ニ五色ノ糸ニテツケルト云　五月の鏡端午ノ日洞ニてかゞみをいる　茱艸摘ツム五、

茱草苅五、　蓬苅仝、　茱草鬪トフズ茱合セ、茱萸をとゝかるとす

競駈キソヒカリ　左近荒手結サコンノアラテツガヒ三、　右近荒手結四、左近真手結五、

右近真手結六、ひらしハ左右近の弓場にて騎射ありしとゝ　ひをりの日五、

競渡（ペクラベ）　鳥車（トリグルマ）　昔屈原ヲ（ムカシクツゲンヲ）　水馬（スイバ）　上三月
滴粉団（タンゴヲ）　水団　端午ノ粉団ヲ（タンゴノコヲ）　盤ノ（バンノ）　射粉団（シヤタンゴヲ）
桃印符（タウインフ）　桃ノ板ニ符ヲ書キ門ニ（モヽノイタニフヲカキモンニ）　赤霊符（シヤクレイフ）　上三月居ノ（ジヤウサンゲツキヨノ）
梟ノ羹（フクロノアツモノ）　梟ノ炙（フクロノアブリモノ）　去鴟鵄舌（キヨシエンシセツ）　騎射（キシヤ）　馬弓（バキウ）
神水（シンスイ）　五、時ヲ（ゴジヲ）　竹ノ節ノ（タケノフシノ）　賀茂競馬（カモクラベウマ）
藤森祭（フヂノモリノマツリ）　今、山シロ　新宮祭（シングウサイ）　九、アフミ　生玉流鏑馬（イクタマヤブサメ）　今、セツ、
六日ノ菖蒲（ムイカノシヤウブ）　宇治祭（ウヂマツリ）　八、山シロ　今宮祭（イマミヤサイ）　九、十五、山シロ　室祭（ムロマツリ）　十三、ハリマ

竹植（タケウヱ）ル日　今、　両社祭（リヤウシヤマツリ）　廿三、アフミ　有無の日　廿五、　大原志（オホハラシ）　廿八、タンバ
住吉ノ御田植（スミヨシノオンタウヱ）　廿八、セツ、　御田扇（ミタアフギ）　今、山田　虎ケ雨（トラガアメ）　今、
石槌山詣（イシヅチヤママヰリ）　今、　寂勝講（セキセウカウ）　賑給（シンキフ）
祇園神輿洗（ギヲンミコシアラヒ）　廿、　富士垢離（フジゴリ）　廿五、ヨリ六月六、三至ル
五月雨梅雨（サミダレツユ）入梅（ニフバイ）　黴雨（バイウ）　五月闇（サツキヤミ）
船風（フナカゼ）　墜栗花（ツヰリカ）　黒風（クロカゼ）　半夏生（ハンゲシヤウ）　夏至（ゲシ）
菖蒲（シヤウブ）ノ水ヲ（ノミヅヲ）ワカス。　菖蒲引（シヤウブヒキ）　花菖蒲（ハナシヤウブ）　紫羅襴（ムラサキ）ノ花

石菖（セキシヤウ）岩あやめ　薮菖蒲（ヤブ）　蓬摘　若竹（そ手作）

苗（ナエ）早苗・子苗丸・若菊・玉苗　田植早乙女・田うゑ等・田うゑ笠

麦の花　楝（アフチ）花　榊乃花　石榴（ザクロノ）花

栗の花　合歓（子ム）の花　天南星（テンナンシヤウ）　南天（ナンテンノ）花

五月躑躅（ツヽジ）　未央（ビヤウ）柳　忍冬（ニンドウノ）花　金銀花　すいかづら

十茱　瞿麦（ナデシコ）大和撫子・されがでしこ・川原なでしこ・茂なでしこ　常夏（トコナツ）花ぬれ草

百合（ユリ）姫百合・黒ゆり・情多ゆり・すゑ百合・さゆり・鬼ゆり・車ゆり・鹿子ゆり・袂百合・ひかりゆり

石竹　栴檀（センダンノ）花　玉簪（ギホウシ）むかんざし　山梔（クチナシノ）子花

紫陽（アヂサヰノ）花　四肥苍・しづくの花・あつさゐ　夏菊　朝菊

紅藍（ベ）花　未つむ花・紅の花　花ぐつみ　真菰（マコモ）苅

川骨　藻苅　藻苅　藻と斗雑く

萍の花　うきくさ　蓼（ソバ）の花　ぬかわの花　入梅葵

鉄線（テツセンノ）花　酢漿（スイモグサノ）草花　下毛（シモツケノ）花　萱草花　まれ

莓（コケ）の花　雪の下ノ花　朝霧草　草石蚕（チヨロギ）

蚊屋詢草
粟蒔
胡麻蒔
梅漬 梅干
楊梅
早松茸
瓜の花

蛇床子
稌蒔 すぐり苞
豌豆
梅剥
枇杷
荒布刈
越瓜 あさ瓜 ゑさ瓜

さるとり花
菽 柿
蠶豆引
杏子 からも
生胡桃
茄布刈
胡瓜

あかざ
秬蒔
青梅 餅梅 小梅
李
桑ノ実
青柚
茄子

蟬 初せこ
水鶏
諸鳥毛革 羽ぬけ鳥 羽ぬけ鴨
獣狩
蠁子
柏餅
帷子

鶉巣
鹿の子
蛇衣脱
菖蒲酒
菖蒲帷

私鳥の巣
鴨ノ子 脛鳥ノ子
照射 ともしゝ
小鯵
墻垣生
蓬衣
うすもの

鳥の浮巣 鳥ハ雑之
烏鴨
鰓狩
蛆
搭子衣
ひとへもの

ひとへ羽織　辻が花　晒布生布・木平・まだらし・麻布

揉爪（モミウリ）　新茄和（シンキアヘ）

○追加　蟬丸祭十三、　丈山忌仝、　団扇まき十九、十二、

頼政忌廿六、　業平忌廿八、　曾我祭仝、　大鳥祭五、エド目ゲ名

両國橋納涼始廿八、ヨリエド　鷺ノ森大明神祭廿八、エト白カ子

富士ノ野男（ノヲトコ）　甲斐野鳥（ノトリ）　芭蕉の花　覇王樹（サボテン）ノ花

据菓（ムギリ）　蟬花（セミノハナ）　放袋（カブクロ）　鯨（クジラ）ノ子

酢を造ル　皐浪（サツキ）

六月

林鐘律　小暑節　大暑中　季夏　瓜期　晩夏

九夏　永夏　陽氷　旦月　遯月　朔月

水無月　風待月　鳴神月　常夏月

涼暑月

氷室一、　氷室御調（ヒムロノミツギ）氷のおもの・ひこづめす・ひむろまゐり

氷室の雪　氷室みさくら・ひむろの雪　氷餅祝仝、　勝曼參仝、セツ四天王寺

富士詣仝、スルガ　浅間詣仝、エド所々　忌火御飯（インコノゴハン）　一夜酒

六月會四、エイ山　御躰御卜（ゴタイノミツウラ）十、　月次祭　神今食（ジンゴジキ）十一、

解齋御粥（ケサイノミカユ）　祇園會（七、十四、洛）　仝鉾ノ名。長刀鉾、函谷ー、洲濱ー、放下ー、雞ー、菊水ー、月ー、船ー、大神山、飛天神山、白手山、太子山、山伏山、孟宗山、琴破山、白乐天山、郭巨山、芦苅山、蟷蜘山、笠鉾山、花盗人山、木戚苅山、岩戸山、以上七、ニ出ル。弁慶山、鈴鹿山、観音山、八幡山、役行者山、黒主山、浄明山、鯉山、鷹野山、船鉾、以上十四、ニイヅル

祇園臨時祭（リンジノ）　十五、

河原涼（七、ヨリ十八、マデ洛ノ四条）　嚴嶋祭　十五、ヨリ十七、マデアキ

竹生嶌祭（十四、アフミ）　三社神支（十五、エド浅ヰビン座サラ弥）　津嶋祭　十四、十五、ヲハリ

芦神輿　仝　熱田祭（アツタノ）　十四、ヲハリ　江戸山王祭　十五、

かつら　前定法。前定唸。故事あり　相国寺懺法（セン）　十七、洛

伊勢祭礼　十六、十七、博多祭　十五、チクゼン　志渡寺祭　十五、ヨリ十七、マデサヌキ

西薗寺殿妙音講　十六、　坐頭涼　十九、　鞍馬竹切　昔

御手洗詣（ミタラシ）　十九、ヨリ卅、加茂　糺（タヾス）の納涼　仝

上難波御祓　廿一、大サカ　坐广御祓　廿二、仝　橋立祭（ハシダテマツリ）　廿五、タンゴ

愛宕千日詣　廿四、ヤマシロ　天満天神御祓　廿五、大サカ

住吉御祓　卅、セツ、火替　住吉をどり　水無月能　卅、カモ　唐崎祭　仝、アフミ

節折 卅、公事之
形代 カタシロ なるでぬ
麻葉流 アサノハ そらひぞさ
夕祓
雩 ウス 雨乞
石尊参 セキソン サガミ 大山寺
溽暑 ヂヨクシヨ

大祓 仝、仝
名越の祓 ナゴシ
夏神乐 川社
御祓 ヨノギ
雷鳴陣 カミナリノヂン
小暑

茅ノ輪 菱貫
荒和ノ祓 あらにこの祓
小塊 サハヘ なるチ神
みそぎ川
道饗祭 ミチアヘノ 卅、
大暑 あつさ日。なつさ

掄越ノ祓
夏祓
鎮火祭 ヒシヅメノ 卅、
施米 セマイ
掄暑

炎天 エンテン
天貺節 テンケイノセツ
霧涼を
月涼を
船掛ひ
泉 せんすゐ やりみづ
さらし井

日盛 ヒザカリ
土用
風蒸る
納涼 すゞみ。すゞしき。川原すゞし。夕すゞし。
口涼し。庭もすゞし。涼し床。
雲乃峰
清水 清水むすぶ。清水くむ。清水堰。清水かえ。
志みつせし。清水がもと。清水井
井戸がへ 井ほりへ。井戸まつる

温風 ウンフウ
虫干 土用干 ちそらひ
涼風
白雨 夕立の雨。よこさち。
しぐるゝ山
水無合

掛香 薑の衣
川狩
鴛鴨涼
涼臺
簟 タカムシロ
抱篭 ダキカコ 竹夫人・竹奴・脚馬・篭枕・
香薷散
霍乱 クワクラン
汗瘡 アセボ
夏疲 ナツヤセ
夏卦
糯 トリモチ つく
夏引の糸 まつ苧 かしむし
百日紅 さるすべり
射干 カラスアヲギ ひあふき
蓮 ハス 白蓮・紅蓮・水芙蓉・
蓮実
慈菇 ヲモダカ 沢瀉
蒲 カハ の穂 ホ
麒麟 キリン 草
赤 アカ 草
夕貝 ひさこの花
干瓢剥 カンヘウ ムク 射干 ひやう
凌霄 ノウゼン 花
風蘭

虎尾草
眼皮 ガンヒ
鷺草
時斗草
葎 ムグラ の花 むくらしげる
釣鐘草
日向葵 日車 日まはり
楮 カフゾ 花 紙すさ草 カヂノキ
青鬼灯 ホヽヅキ
青番椒 タウガラシ
薏苡仁 ズ ダイ
粥の花
紫蘇 シソ
蒜 ニンニク の花
茗荷 ミヤウ カノハナ 花
麻 あさ苅・苧 カラムシ 白麻苅 ヒチ
苧 さくら麻 いちひ苅
蓋苅
菅 スゲ 苅
蘭 井 苅
豇豆 サヽゲ まさらけ 大さらけ
藊豆 インゲンマメ
海藻 ナノリソ
糸瓜 ヘチマノ 花
姫瓜 ヒメ
乾瓜
瓜 去来 かゝ瓜
金瓜

銀瓜　青瓜　水瓜　阿古陁瓜
白梵天（ボンデン）　菜瓜（ナウリ）　葛花（クズノ）　林檎（リンゴ）
夏桃（ナツモヽ）早も、　李桃（ズバイモヽ）　木耳（キクラゲ）　竹の皮脱（ヌク）
青田　田草取　一ハンゆ　二ハンゆ
鷹羽まひを学ふ　雲雀鷹　超鶴（子リヒバリ）　腐草為蛍（フサウト）
蟬の諸声　蝉しらへ　空蝉（せみのから）　蟬脱（モヌケ）
夏のむし　虫とり火　火に入むし。　金亀子（コガネムシ）　ひきい雑く

毛むし　蠓（ヌカヽ）　蠟（スヽ）　殆る蠅（ハイ）
鯖釣（サバツル）　海月釣　鱆（エイ）　川狗（ツリ）
持綱　四手網　纚（サデ）
氷餅　甘酒　ふさけ　麻地酒（アサチ）
反切菜　水の粉　反明寺挽飯
水飯　洗飯　引飯（イヒ）　乾飯　葛水
砂糖水　水豆腐　冷水煮　振舞水

四方　　赤舟　　切麦（又秋トモ）　　冷麦（日）

寒ふ漬制　　納豆（ナツトウ）造　　醤（ヒシホツタル）造　　醤油造

梅干漬　　沖鯨（せどし鯨）　　掛鯛おろす　　夏隔（ナツヅヘダル）

夏深し　　夜の別　　夏後（ナツミオクル）　　夏隔

夏の限り　　夏過　　夜を追　　夜のそ

秋を隠（トヽリ）　　秋ちかき

○追加　　法恩寺千部（エド三、本所）　　天王祭（四、エド ミノハ）

宗延寺法事（三、エド 谷中）　　熊野權現祭（エド芝ゆうけ町 三、）

神田天王祭（エド五、七、十、各神輿おれ 御帰八、十四、十三、）　　品川天王祭

（七、エド 神輿二社おれ）　　掉竹賣　　浅草寺越明神祭（九、エド）

千住大橋綱引（九、エド）　　亀戸香取社祭（十四、エド）

水游學（ヲヨギナラヒ）　　氷川明神祭（十五、エド アカサカ）　　びんざら神事（今エド 渋中）

すばり泥（エド 芝浦）　　天王祭（十四、エド四ツヤ 八、浅中御花前）　　芝愛宕詣（廿四、エド）

磯部太神宮祭（廿六、イセ エド八丁堀）　　佃嶋住吉祭（晦日 エド）

七月

秋

少皞 帝 蓐收 神 旻天 白藏 朗景 廩秋 素秋
金商 明景 收成 爽籟 爽氣 金神
夷則律 立秋節 處暑中 孟秋 新秋 首秋 蘭秋
閏秋 上秋 盆秋 相月 親月 桐月 涼月
蘭月 女郎巻月 文月 文ひろげ月 七夕月

今朝の秋 ひふの秋 来る秋 初秋 秋たつ
一葉 一紫 一紫衣 餞暑 残暑 秋初風
初嵐 身にしむ 言ひやら 律しきく
新涼 神てすも 稲妻 もかくり 花火 諸寺施餓鬼（セガキ）

北野御手水 六、山口 同煤掃 七、硯洗（アラヒ） 机洗ひ
七夕 牛女（たなばた） 牽牛（ケンギウ） 織女（シヨクヂヨ） 二星（おたなばた、めたなばた）
いぬくひ星百子姫。秋さり姫。こゝ紀もの姫。こゝりし妻。蓋姫。花星。
糸織ひめ。たなつ姫。さくがに姫。紀がほ姫。梶葉姫。河鼓
たなばたつめ 星合 星契 星祭 星の手向
秋さり衣 乾ひ糸 糸色 乞巧奠 乞巧計 星の蓋
雲漢 天河 銀河。星河。天ノ川。龍界。カサヽギ 烏鵲の橋
霊源。銀灣。銀漢。天漢。
紅葉の橋 年の渡 つまこし舟。つまむかへ舟。つまゝ送り舟。七種舟。
百笠の舟。具穂舟。左小舟。

庭の立琴　二星屋形　七夕鞠　七宝枕

梶の葉 梶の葉　索餅 二星を祭ふ供ふ 索麪と用ゐ　洗車雨 センシヤウ 六、雨

洒涙雨 サイルヰウ 七、雨　七箇池　百子ノ池　星の川ノ橋

化生 クハセイ　芋ノ花ふの露 ホホ新草　短冊竹賣

池ノ防立花 七、洛 六角堂　本願寺立花同燈籠 供ニ七、

七日ノ御節句　逆ノ峯入　文殊會 八、洛 東寺西寺

六道參 十、洛　槙賣 仝 聖灵 槙　天王寺千日參同 句ひ 隆 十、セツ、

清水千日詣 仝、洛　浅草四万六千日詣 仝、エド

摂待　門茶　王子權現祭 十三、エド

燈籠 柳ニうろう。高ニうろう。墓ノ燈ろう。 彩の燈籠。きりこ。彩燈ろう。　焔ノ祭 エンマ 十六、処々

踊躍 念仏をどり 松ケ崎 影目踊 燈籠踊 イハクラ ハセ いせ踊 木曽踊 小町をどり 大をどり ふわりをどり

踊 伊ヶ をどり かこびら　盆前　草市 荷葉賣。麻がら賣。水の米 みそはぎ。蓮の葉。枝まめ。

枝さしげ。ひりけし。根いもなすび。まゝ瓜。まゝそは。 蓮ニうろう。柿蓮

まゝ柳。桃。掛そうめん。太鼓。國扇。大小木力。ひらき。化りひけ。 踊ニ用る具

盆市 上ニ仝　中元 十五、　盂蘭盆 盆會 盆供　迎ひ火

聖霊祭 灵祭・魂棚・聖灵棚・盆ノ営・魂まつり　棚経　生身魂
荷飯（ハスノ）　照冥　墓参　三井寺女詣 十五、アミ
施火燎（ヒビ）（タク） 十六、　大文字火 東山　鳥居ノ火 アタゴ　船形ノ火 舟岡山
妙法ノ火 松ガサキ　水燈會 十六、ウヂ　経木流 仝　八幡安居頭 十五
夏書納（ゲガキ）メ　夏解艸（ゲゲ）　善福寺童相撲（ワラベスマフ） 十五、エド アサブ
祐天寺千部 十五、ヨリ廿五、ニデ エドメグロ　衝突（ツト）入　新綿（ニヒワタ） 十六、
御霊御出 十八、　愛宕火（ヲタギノヒ） 廿四、　六斎念仏 仝、　地蔵祭 仝、

文學忌 廿　御射山祭 廿七、諸訪穂家作　角觝（スマヒ）
部領使（コトリ）（すまひ使）　鳩吹 猟獅鳩を免ん為に鳩の多くまるを生ずる風雅に有る　扇置（オク）
園地く　二百十日　廿六夜待
相一紫 相のも落　柳散　楓 まつ楓　木槿
柞（ハツ）・柞山柞 柞ハ雑之　櫨（ハジ）　檀（マユミ）　楸（ヒサギ） 演ひさぎ　荻蘆 荻あり 水辺に生ずる
萩 糸ならざ・ハぎなぎ・もとあらの萩・萩原・萩の戸・さらまし萩・萩の綿・
廉 鳴草・芳宜中・さいもらざ・志ら萩・ふくこんぐさ・ふる枝草・月見草
肥ちる草 ねりくさ　秋海棠　蘭（ラニ） 蘭ばかり・燕尾香・ひらくき

桔梗（キツキヤウ）たちかう。おとくぎ。
女郎花（ヲミナベシ）
男郎花 茶花 おほとちの花
牽牛花（アサガホ）葬。新良。
仙翁花（ツリ）紅梅菓
観音草
翁菓 白頭翁
茱萸（ヤクシ）師草 才切菓。きり菓。青菓菓
鳳仙花 法皮紅
益母（ヤクモ）菓 めはぎ菓
旋覆花（ヲクルマ）をぐるま
壁菊
鬱金（ウコン）花
茗荷（ミヤウガ）の花
灸花
ナまひ菓
曼珠沙花（マンジユサケ）しびと菓
桃実
金桃
蜀漆（クサギノ）花
木瓜（ボケノ）実
蓮実飛
槐花（エンジユノ）

棗
刀豆（ナタ）
隠元豆（インゲン）
渋柿（シブ）渋とる。新渋
夕貝実
青瓢蕈 まるふくべ 百生ふくべ 子なりおほうたん
狼尾草（エノコロ）
秫（モチアハ）
粟奴（クロンボウ）
稲葉 稲ばかの
稲もしろ
早稲 てさ冈。冈のいぶだ
室のまハせ
稲花 こみくさ花。水新菓
蒲萄（ブダウ）えびかづら たな
芭蕉
鼠尾草（ミソハギ）水掛菓
五味草 さねかづら
頼桐（タウギリ）
星草 穀精菓
蓖麻子（ヒマシ）たうごま
東埔塞瓜（カボチヤ）
南瓜 ぼうぶら。なんきん
胡瓜（キウリ）

鷹塒と出ル 十六 鷹の山別(ワカレ) 廿五、山成り 鷹鳥を飛ぶ 荒鷹 小たか。荒たか。

鳥や猪り 初鷹狩 初鳥狩。かこかえり。とろかへり。うづら鷹。 鷹打 網がけ

虫 虫の音。むしの聲。虫うり。むし合。むしかご。虫きく。 松虫 人まつむし 鈴虫

鬱(クツハ)虫 馬追虫 蛬 きりぐれ 蟋蟀(キリぐス) ちろ虫。いねつ虫

叩頭虫(ヌカヅキ) いねつき 虫 蚤斯(ハタオリ) 促織 蟲蚤(イナゴ) 稲虫 蟿蚤(ハタ〳〵) ぶつて

竈馬(イトド) つぶ里させと鳴 蜻蛚(コホロギ) 蜻蛉(セミ) ゆんまさんだう。胡黎(キエ・ニバ) 朱さんだう。秋はむし

蟷螂(タウロウ) かまきり。いかずり 秋の蛍 秋蟬 蜩 ひぐらし

蛁蟟(クツくムシ) 小蟬と鳴 我から鳴 藻に鳴虫 蓑虫鳴(ミノ) 父こひと鳴

蚯蚓鳴 秋の蟬 ふさぎの虫 冈の虫送る

刺鯖(サシサバ) 粗茶ノ沙 糒米(ヤキゴメ) あつ麦

ぬる麦 冷麦 又夜上せ 志のぶ衣

楸(ヒサギ)の蛍ふいてぶく 立秋の日女童おてひさぎをいてぶくとえ

○追加 本所羅漢寺大施餓鬼 エド朔、ヨリ 廿五、川せぎ 廿一、海、大せがきなり

本所回向院施餓鬼 四、八 新吉原灯篭 エド朔、ヨリ

梶葉流　烟草紫出れ　蒜王樓現角刀 エド十五あさぶ 仝小つか原

品川廿六夜待 エド

○三秋小渡るとの　竜田姫　[illegible]

肌寒（ハダサム）　秋風　秋の宮　千秋乐

露 白露。露けれ。おく露。下露。朝露。浪のつゆ。露の玉。袖の露。うえ露。　霧 朝霧。夕霧。川霧。霧夏

霧の海。霧の色。さりとる。　霧匂ふ 霧の雲　霧立人 きりがくれ

霧の雲下。きりの下原。

相撲 せまひこり 辻相撲　薄（スヽキ）芒。鬼すゝき。縵（シマ）薄。鷹の羽薄。篠（シノスヽキ）芒。ちぢきさ。簸すゝき。花すゝき。糸すゝき。一もしすゝき。薄のいと。

たすゝ穂のもしを。麻苧穂の薄。まそ木の糸。芒蘇苧のすゝ。　椎柴（シイシバ）はてだしい　椎の葉

椎の実 椎拾ふ　柾（マサキ）正木のかつら　葛（クズ）の葉 しくず。此辺かつら　忍草

忘れ草　墅菓　蔦 松蘿　花畠

草花 百ふさ花。千種の花　色草 秋のちぐさ　卵の花　弁慶草

鶏頭花 黄雞頭　茅萱 苅宣。小がや。ちがや。萱ふくがやの下折　唐来紅 ちぐさ

鬼灯（ホウヅキ）　畜椒 こうかし　若烟草 烟草花　荻 けぐまをくさ 荻の上ぜ

演蕃　布瓜（ヘチマ）糸うり　薑（ハジナミ）　牛房引

冬瓜（カモ）
蓮芋（ハスイモ）水に作る
零余子（ヌカゴ）
団栗（ドングリ）
新米 ヒ年米
稲干 いね扱（コク）。稲ねしろ。
稲穂 八束穂。稲垣。おかけ。落穂。いねづか。

芋（イモ）芋 魁（イモ）。ずいき。芋のえ。芋の子。紫芋（カシラ）。イウノ。螺芋。
栗芋（クリ）畠に作る
黄独（ケイモ）何首烏（カシユウ）
秋ノ七種 萩。尾花。葛の花。桔子。女郎花。蓋ばな。釣貝。
籾挽（モミスリ）もみ引
田の色 秋の田。毛見。
田の庵 田をする。小田ち。おくてち。山田ち。そばつ。
鳴子（ナルコ）

薯蕷（ツクネイモ）甲まのいも 平芋
琉球芋（サツマ）
新稾（ワラ）
田の庵 田をする。小田ち。おくてち。山田ち。そばつ。
鳥刧（トリオドシ）

青芋（ヱゲ）
長芋（ナガ）ジ子ンジヨ
菓（コノミ）榧ノ実。核ノ実。
虫撰（エラ）ひ
稲苅 稲ぶ子。かけ稲。

引板
焼帛（シメ）
木綿取（キワタ）
狭牡鹿（サノシカ）小男鹿。竿しか。肩抜鹿。掉しか。妻乞鹿。美雄鹿。
鹿笛
鳴（シキ）ほど鳴。狗黒。黍鳴。黄脚鳴。木雀鳴。鳴の羽撥ひ。百羽うさ。
鶉（ウヅラ）うづら籠。片うづら。鶉床。うづら網。帳。蟇化して鶉となる
鳴竿
濂帛（シメ）
鹿 牡鹿（フシカ）牝鹿（メシカ）
紅紫鳥 十六（シカ）。雅龍。錦馬。共々鹿の異名之
鹿狩
鹿垣 しゝがき
鳴（ハシキ）
添水（ソウツ）
鹿 牡鹿（フシカ）牝鹿（メシカ）
紅紫鳥 十六（シカ）。雅龍。錦馬。共々鹿の異名之
案山子
鹿火屋
かせぎ 鹿あり
秋の特場
川原鳴。
鵞（モズ）。伯労。もずの子 贄（ニエ）。鵞の菓ふき。鵞の菓ぐるあり。

百舌(モス)鳥
鱵(シイラ)
いわし 羽鰯 と斗雑之

八月

南呂 律 白露節 秋分 中 仲秋
桂秋 清秋 深秋 中律
巣月 秋風月 月兄月
燕去月 雁来月 桂月

八朔 八朔梅
後の水
鶉衣
江鮒(エブナ) 小さくし。例走り。名吉。口女。いたな。
九万疋
鰻築(ウナギヤナ)
鯖(スバキ) 川もぐれ
沙魚(ハゼ) ちぜ狗。
小鰯(コイハシ) いつし引。いわし雲。
芋虫
竹春 中商
壯月 難月
恃怙(タノム)の節
尾花の粥(カユ)
憑(タノミ)の節供
繪行器(エホカセ)
田面(タノモ)の祝。田の実いそひ。なのむのは。
天中ノ節 八朔

三村祭 イヅミ堺 大寺一、
堺天神祭 仝三、
北野祭 山シロ四、
白髭開帳 五、アミ
敦賀祭 十、エチヒン 吉備宮
八幡祭放生會 十五、山シロ
野口念仏 十五、
鶴ヶ岡八幡宮 十ロ、サウ州 カマクラ
筑前宇佐宮 十五、八マン
箱崎祭 十五、仝
譽田(コンタ)祭 仝カハチ 八マン
伊勢安濃津(アノツ)祭 仝、
三津八幡祭 十五、セツ、
富賀岡八幡祭 仝、エド深川
豊浦(トヨラ)祭 仝、ナカト 今祭トシ
駒牽(コマヒキ) 弱迎 十五、イニ 今十六、
菅大臣祭 十六、洛
御霊祭 十八、洛
粟名(クハナ)祭 十八、カスカ宮
菩薩(ホサ)祭 廿二、長サキ
西院祭 廿八、洛西 カスカノ宮
秋社 立秋五ノ戌

燕帰ル　釋奠（セキテン）上ノ丁、　死活杖（シクハツチヤウ）の祭　洛三条南　褐速ノ神社

初汐　良夜（リヤウヤ）　待宵月　待宵ノ月　小夜月

月見　名月　明月、初月、名高月、ハふの月、月こよひ、ハ宵の月、新月、十又夜、夜月、三又夜、望のつけ、芋名月、端正月、月華、

十六夜月（イサヨヒ）　宵不知（イサヨヒ）、倡月、弘生魂、既夜、上ニ仝（イサヨヒ）

○此下秋三月ニ　月　さやけき月、月さやか、月のかつら、かつら男、かつら彩、雲のかけ、雲の光、月のこゝやこ、宵月、三日の月、

ある月　明、弱月、ぎり張月、月のうちあり、上弦のぼり月、下弦、かぶり月、月の雲、月の氣、月の氷、志まおし、さらへ男、でる月あり、八足兎、

新月、月の氷、弘生明、　月の暈　既生魄　十七、立待月　居待月　十八、

卧待月　十九、　更待月　廿、亥中　廿三夜の月　志秋半月

玉兎、霊兎、銀兎、銀盤、孀娥、氷輪、玄如の月、雲のかけ、月の鼠、

暉素、玄兎、常娥、金波、氷鏡、狗の月、心の月、月の剣、月宮殿、

司召（ツカサメシ）　後の彼岸　野分　碪　砧、擣衣、衣うつ、志でうつ

後巻、志ころ打、　長夜　秋寒　朝寒

そゝろ寒　うそ寒　漸寒　冷し（スサマ）

水初て加る　雷あり納む　秋夕　秋夕ゆん

八朔梅　初もみぢ　名の木散ル　落霜紅（ウタモドキ）　梅爆

牡丹の根分
漆の花
檀特の花
芍薬根分
ざくろ 柘榴
敗荷
尾花

芙蓉 木ふよう 草ふよう
縷紅
花紫
烏頭 附子
藍の花 山あゐる の名
金線草の花
木賊刈

木犀花
銀杏 いてうの実
白粉の花
紫苑 シオン
露草 月草 ともいふ
白粉の花
龍膽 尾花がもとのおもひぐさ

桂の花
金剛草
葛根堀
鬼志許草 全
宇治の花園
芒の穂 花すゝき
無もんきやうくたふ。山やへもんきやう思中。

茜堀
胡黄蓮引 ちゑみり
三七の名
黄蜀葵 とろゝの名
蕎麦 [illegible]名
車前子
蘿蔔蒔

蓼の花 あかたでの名 犬たで花
菜摘 採菜
刈萱草
水葵 これぎ
種瓢 たねふくべ
菱取 ひしのむ
菜種蒔

芦の花 芦の穂
濱ゆふの花
茴香実
通草
蘿豆
虞美人草
芥菜蒔

苦参引 まいりぐさ
[illegible] なまふじ
茘枝 つるれいし
鶉草
天瓜 むつき
秋なすび 秋茄子
罌粟子蒔

胡ヿ菊　粟ひく　稆ひく　稗ひく

小菜 くゝたちふろ引。はまさな。　中菘大根　蜀黍

玉蜀黍　茸 木耳。木より生するをいふ。菌 土より生するをくさびら。

とびたけ。まひたけ。しいたけ。まつたけ。しめぢたけ。

かうたけ 紅茸 猴茸 茸八皆一物之。ねずみたけ。ぶなたけ。柳たけ。天狗

ひけ。ひらたけ。榎たけ。栃たけ。栗たけ。黒皮たけ。蛇たけ。月夜茸。

ようたけ。竹のふさ。ひいらぎたけ。

あみたけ。きくらげのたぐひ。鬼筆。　笑矣子 楓樹の下に生ず　松露

中稲 おくてうり　毛見 田を巡見ス

鴈 ヿゐがん。鴇 …白ヿ。隣ヿ。田面のヿ。こゝろヿ。来るヿ。往ヿ。二季鳥。

落ヿ。白ヿ。渡ヿ。ゐヿ。字ヿ。ヿ書。ヿ…ヿの…

稲負鳥　菱喰ひ　一ヿ風呂 又春花

色鳥 いろいろの鳥　小鳥渡ル 渡り鳥 飲鳥修　鴗 翡翠　啄木鳥 てらつつき

鶲　鶫　猿子鳥　鵯

桑鳲 まめうまし　椋鳥　鶸　鵇

山雀　四十雀　五十雀　小雀 小陵鳥

頬赤　画眉白　繍眼児 目白　瑠璃鳥

連雀　豆鳥 豆まわし　鷓鴣　鴲

鷦鷯（ミソサヽイ）又冬ニ　鵐（シトヽ）青鵐（アヲシ）　鶡（イスカ）　鳥鳳（サンクワウ）

櫺鳥（カシトリ）　鶺鳥（ヌエトリ）　鵲（キクイタヾキ）菜戴　鴟鴞（ミヽヅタ）木兎引（ヅヒキ）

鶺鴒（セキレイ）庵ニ記。ゑゝ記。　鴻（クウ）ひしくひ　囮（ヲトリ）小鳥を見　高鞭（タカハコ）

初鮭（サケ）一作鮏　鮞（ハラゴ）魚子。甘子。ドモ　江鮭（アタノウヲ）　太刀魚

落鉆　さびたゝ事　河鹿（カジカ）かじか鳴　下リ菓　岩ま菓

蛇入穴（ロナ）ニ　鯷（ヒシコ）又春ニ　黒つけ

新酒（シンシユ）　殊礫漉（ドヒロク）もろこ。中級。濁りさけ　新酒糟（シンカス）

新走（アラハシリ）池田伊丹の新酒舟にて江戸に走る　茹菱（ユテヒシ）　新絹

後の出代リ

○追加　高田穴八幡宮祭（十五、エド）　渋谷八幡祭（仝、エド）

市ヶ谷八幡祭（仝上ニ）　西久保八幡祭（エド仝日丑卯己未酉亥年）　三田八幡祭（エト仝日子寅辰午申戌年）

亀戸天神祭（エド廿四日祭年仝上）　同社太々神乐（廿五、）

下谷五條天神祭（廿五、エド）　太宰府祭（仝、チクゼン）　聖堂釈米（エド丁ノ、）

芝神明社太々神乐（エド廿八、）　新吉原於女白小袖を見る（エト八朔）

新吉原俄祢りもの 八月内 エド　所〻寺院六河孫条詣 エド ひぐん
亀戸柳島竜眼寺浅草正燈寺の萩 エド　角田川生涛の月 エド
日々下通王子亀の虫 エド　角田川堤蓮花野 カニハ 谷遠花野 エド
麻布平尾原花野 エド　深川洲崎品川あるゐ濤小松川辺の一ノ エド
月見園子

九月

無射律　寒露節　霜降中　季秋　杪秋　玄月
梢の秋　菜月　長月　もみぢ月　寒光月
素秋　紅樹　木染月　菊秋　相秋
晩秋　小田苅月　色ゑ月

御燈 三、　不堪田の奏　桂宮相撲 八、洛　泉涌寺舎利会 仝
重陽 重九　菊の節句 菊の日　重陽の宴　後の雛 きくのひな
菊花の宴　菊花酒　茱萸袋　登望郷臺
九日小袖　温酒 アタヽメザケ　菊襲 キクガサネ　菓の黒綿 キセワタ
栗の節句 佐ニ九、　海羸廻 バイシ 九、　醍醐祭 タイゴノ 九、　御香ノ宮祭 仝、
鞍馬祭 クラマ 仝、　貴船祭 キブネ 仝、　生玉祭 セツ 仝、　後日の菓 十、菓の宴
四宮祭 十、アミ　下鳥羽祭 十、　五條天神祭 仝、　野の宮別 山シロ

山口祭 中午 防州　例幣 レイヘイ イセ朔、ヨリ十一、迄前斉ト云僧尼ヲ制禁ス　幣使發足 十一、ガイ起

御難（ゴナン）の餅 十二、相州タキロ　住吉相撲會 十三、セツ　宝市 仝、住吉　白川祭 十三、山シロ

天王寺一乘會 十五、セツ　舞乘アリ　岩倉祭 仝、洛北　小倉祭 十五、ブセン

一宮祭 仝、カワチ　神田（カンタ）祭 十五、エド　牛ノ御前祭 仝、弁シ　築土（ツクド）祭 仝、エド牛込

芝神明祭 十六、エド　勸學（クハンカク）會 十五、　太秦（ウヅマサ）祭 十五、山シロ牛まつり　呂清祭 十六、

度會（ワタラヒ）新嘗（ニイナメ）會 外宮十六、内宮十七、　伊勢御遷宮 仝、廿ケ年ニ一度　穴織（アヤハ）祭 十七、十八、セツ

呉服（クレハ）祭 十八、セツ　八幡花の頭 廿、　城南寺祭 廿、山シロ　婆利女（ハリニヨ）祭 廿、洛

旅夷（タヒエヒス）祭 廿、洛東　上難波祭 廿一、セツ　坐ノ祭 廿二、仝　淀祭 廿二、山シロ

木幡祭 廿四、仝　庶ケ谷祭 廿四、洛　逆髪（サカカミ）祭 廿四、山シロ　天満流鏑馬（ヤフサメ）廿五、セツ

北山祭 廿六、洛　津村祭 廿七、セツ　鳴滝祭 廿八、山シロ　福王子祭 廿八、洛

住吉神送 晦、小まつり　桂河の御稜（ミソキ）さがり虫撰ミ

十三夜後の月　後の名月、三夜の月、栗名月、栗名月、月のなごり、二夜の月　妹の色

山粧ふ　霧時雨　霧寒し　霧君

秋霜　秋ふかさ

菊 菓のきせ綿、ちゝのきく、菓瓶、金菊こ鞠、うゝこゝ草、雲見菓、齢菓、百歳菓、星見菓、ちつゝ草、ふきくこ、千代見草、菓の渕、十日きく、残きく、後日きく、万きく、百菓、承和きく、菓の書、菓の牛、乙女花、おきれ菓、のこりゆ、しゝ菓、黄菊、大きく、小きく、山ゝ菓、乙女菓、手あれ菓、花のこ、猩くぎく、砕柿妃、大白、金目メ、大般若、まり花、菓のかわり、稜あし菓、稜の菓、いふて菓、秋しゝれ花、女菓、隠君子、

菓合

紅葉 葛もみぢ、菓もみぢ、楓もみぢ、槌もみぢ、白楊木もみぢ、漆をみぢ、梅もみぢ、さくらあ紫、杏子もみぢ、柿もみぢ、梅をみぢ、海南もみぢ、けや木もみぢ、楢をみぢ、むらもみぢ、下とみぢ、色見菓、紅紫焼、をみぢの土器、あ紫のかしれ、紅紫かつちる、色ゆうちる、もみぢ積る、もみぢふむ、川のもみぢ、水のあ紫、あ紫衣、

紅紫散 又冬圧

紅葉狩

地楡 ワレモコウ 吾亦紅、のこぎり菓、羽ごろも菓

色々えぬ松

草牡丹

仙蓼 センレウ

白英 ホロシ 雪下紅

上戸 上戸 烏 ヒドリ 卑

佛甲草 イハレンゲ

小蓮花

蒟蒻花 コンニヤクノ

芦の積綿

尾花散 落ちる

芭蕉破る

うゝ枯

かゝ山の色

かゝ山の綿

菓の綿

枯かゝ色

枯かゝ菓

柿 清所柿、公方柿、魯産柿、透徹柿、スキトヲリ愛宕山、木綿柿、似り柿、博屋柿、木清柿、伽羅柿、

田舎柿 味深し さいしと

樗拔柿

碄柿

君選子 サルガキ ふぎう柿、味美あり、いぐも食用とせん

酣柿 サバシ

柿糕 カキモチ 黄柿小米粉を和し蒸て小児小与ふ

猿酒 猿菓を取て樹木の虚又凹小穴へ盃熟して酒のこと

十夜柿 渋柿なり灰をうけてむして二三日経て食ふ

烘柿 ツミカキ

白柿 つりがき

西条柿 筆がき　胡 コロ 亀柿 豆がき　犬殺 ムツクク 稚田よりもる梨子也 大サ周一尺四五寸犬随市而死

梨子 そまたり山なし。ゑなし。水なし。木ゆし。あのつゐ迄。ちよの浦梨子 イセ芦ほの浦なる

紅瓶子梨 コウヘイジ 瓶形 観音寺梨 アフミ芦浦観音寺なる大にて味上ふ之　園梨 皮薄く色青上ふ之

松尾梨 アイヅ 松尾なる形大水おりれせ甘し　空閑梨 コガ 犯ちなお大之　鹿梨 アリノミ 山なし。ゆりのミ。

枳椇 ケンホナシ 大サ小大豆のごとく 梨子の味ひなり　南天実　漆の実 漆丸

核の実　杼 トチ の実　椿の実　椽 ムク の実

罌子 ダモ 柯 ノ 実　皂提子 サイカチ　菩提子 ボダイジ　枳穀 キコクノミ 実

栗 ゆがぐり。毬ぐり。ぐり飯。栭ぐり。焼ぐり。出落ぐり。茅ぐり。大ぐり。剥ぐり。手ぐり。栗の粉餅。山ぐり。　錐栗 ヒヤウグリ ひやうく栗

搖栗 カチクリ　榛 ハシバミ　無花果 イチジユク 唐柿　櫟 イチイ

新榧 カヤ　新胡桃 シンクルミ　新松子 チヽリ　茱萸 グミ

榼藤 ヒヨンノミ　木患子 モクイハンジ　木欒子 モクレンジ　槇櫨子 クハリン 果榈

老母草 オモトノ 実　栴檀 センダン の実　桐油 トユノ 実　椏 カシノミ 実

乳柑 クネボ 九年母　橙 ダイ　柑子 カウジ　柚

密柑 ミカン 花さち花　金柑 キンカン　雲州橘　佛手柑

仏香碧 仏手柑にて似る酒也　水木
烏柿（アマボシ）　馬槨（マルメロ）おやがたら　豆引 小豆引（アヅキ）
豌豆引（エントウ）　蕎麥苅　遲稲（オシネ）
稲孫田（ヒツジダ）　落し水
尾越の鴨　紅紫鮒　網代打
熊の栗棚かく　雀海中へ入拾ひ　豺獣（オカミ）を祭
栗祝ふ 焼くり。茹くり。　姫だう酒　柚みそ

熟柿（ミユツシ）　緑豆引（ブンドウ）八重生（ナリ）　晩稲（オクテ）
霜ふむ麻　番綿 番船　新そば

とち餅　行秋　菅の秋　秋の別き
秋の限　秋の名殘　秋を惜む　秋の湊
秋を隔る（ヘダツ）　秋より後　冬を待　冬を濃
秋を隔る　秋るゝ

○追加　吉間弘法寺千部 九十八 迫エド　三田明神祭 エド九
小石川氷川明神祭 エド十、かく年　深川神明祭 エド十三、
芝そしやうが市 土ヨリエド 祭前ニ出ル　橋場神明祭 エド十四、

麻布氷川明神祭 エド十七、　白金氷川明神祭 エド仝、

坂本小野照崎明神祭 エド十九、今八月ニ改　牛込赤城明神祭 上州三枚沢神を祀る十九、

日ぐし神明祭 エド仝　小石川白山権現祭 エド廿一、かく年

根津権現祭 エド廿一、　青山熊野権現祭 エド廿一、

大久保天満宮祭 エド廿五、かく年　千駄ヶ谷八幡宮祭 エド廿七、

品川戸越村八幡宮祭 エド廿七、角力アリ　目黒不動参詣 エド廿一、ゟ廿八迄 正月五月と同し

目黒青山四ツ谷巣鴨本所駒込菊　柿 十六ス

三度栗 我後上下此州ニなり 小栗之一年ニ三度実のる

冬

十月

顓頊 帝　玄冥 神　玄帝　析木　上天

玄英　安寧　羽音　律檀

應鐘 律　立冬節　小雪 中　良月　陽月　上冬

玄冬　三冬　九冬　暢月　時雨月

神無月　秦正　小春　初冬　初霜月

初冬月　孟冬　小六月

更衣 朔、　孟冬ノ旬　氷魚を卸フ　神送リ 朔、神の旅

焦燔(シヤウザウ)を食フ 仝、拝墳(ハイフン) 仝、先祖ノ墓ニ系る　炉炭(ロタン)を進　煖炉(ダンロ)會

玄猪(ゲンヂヨ) 亥日 亥の子　あれの餅　炮(ロ)ひらき　火燵切ルこたつ 明る

神の蜀を　達磨忌五、　射場始三、　残菓の宴五、
大社神支中央　神あつかん　興福寺法花會六ヽ十ラ
御取越一向宗　金毘羅祭十、廿又キ　維ノ會十ヲ興福寺十ヽヨリ十六ヽ二テ
芭蕉忌十二、　御影講オメイコウ十三、日蓮忌　法花會式　下元ノ日十五、
十夜　聖一忌十七、洛東福寺開山忌十リ　誓文拂セイモンバライ廿、　弁當納メ洛
水官厄ヤクを解ス　戎講廿、　茶ノ口切　柵尾虫供養
法勝寺大乗會洛廿四ヽヨリ廿八ヽ一テ　神迷廿、

初霜　子霜。初霜消る。霜のたゝる。霜ふぜれ。霜の花。霜ぐさ。霜のつるぎ。霜折レ　青女　霜ふ霜をもらる神
時雨　霰雨。初しぐれ。そでしぐれ。川青の時雨。片時雨。夕時雨。村しぐれ。泪の時雨。松風のしぐれ。小時雨。さよしぐれ。
初雪　初雪消る。　たゝり雪ふん　初氷　初氷解る
冬牡丹　金剛纂ヤツデの花　茶の花　山茶花
大莖ツハノ花　つゝの花　帰花ふくり咲。　水仙花　枇杷ビハの花
散もみぢ　名ハ草枯　落葉　落葉ハ山落ハ　木ハ葉　木のたゝ丹。木ハ衣
木ハ葉ハ時雨　このたゝの雨。木のたゝの里ハ雑ゝ木の葉ハ霜ゝ雪ゝ虫麻一ノなるゞむすべハ秋ゝ　朽クチバ葉

冬木の梯　松風の時雨　室咲むろの梯　枯柳
ヒラギ
捨の花　榧（カヤ）の花　枯尾花落ちて　菊かるゝ
萩かるゝ　蕎かるゝ　葛かるゝ　枯芦
冬桂　雪の下　麥蒔　蒼麦莉
ガブラ
芸　大根引
鶯の子鳴　氷（ヒ）魚　鱈（タラ）　鰭（ウルメ）
于蕪釣　于大根釣　かけ菜まき于菜　切于（大こん）

芸（ノキ）漬　くき大根菜

○追加　上野慈眼大師御法會（エド二、朝五時御祈り　元三大師御本坊御執事）

十夜法要寺院説法（エド十五浄土別附念仏）湯嶋天神祭（エド十、二月ト同）

日蓮宗御影講（雑司ヶ谷池上下　総堀内中山十三ヶ江）通夜（エド十五、浅中会仏寺、深川霊光院、目黒祐天寺、夜国回向院）

釣込神明祭（エド十六）　傳馬町市（エド十九、夜生魚青物）

町方夷講（エド廿八）　品川海晏寺、東海寺、目黒不動、浅草正燈寺、紅葉

下総点間弘法寺紅葉（エドヨリ三リ）　まゝ此結ちの絵なり　その外名所多し

○三冬にもらるゝもの

雪 六ノ花。玉ノ塵。玉の屑。雪消。はゝき雪。あたひ雪。たひ雪。雪まぶし。雪竿。雪やけ。雪圃。雪持。雪おり。雪保。雪塩。雪仏。雪女。雪の山。雪蛆。雪の肌。富士の雪

吹雪 吹雪例き

氷 氷のふさび。薄氷。氷衣。氷ノ花。氷ノ声。氷面。陸。米菓。厚氷。川ノ氷。池の氷。

氷柱 垂氷 銀竹

霙 霰 電あらまし。

凍 凍めたれ

氷渚 凝

寒し

胼 裂やけ

皸 炭竈 炭焼 熏炭翁

炭 小形炭。池田炭。さくら炭。白炭。細炭。切炭。枝炭。廻炭。炭俵。炭頭。獣炭

榾 榾ちたれ火

助炭

炉 塗炉縁

巨燵

囲燵裏

火体

火桶 桐火桶

手燵 手ほかり

懐炉

湯婆

埋火

蒲團

褥

横

頭巾 丸づきん。角づきん。

足袋 踏皮。足皮 襪子

温石 塩おんぶせ

綿帽子

月冴る

陸冴る

さゆ深

冬の月

山眠る

さむさ 寒そら。寒ぞ。寒れ枝

冬菜

冬大根

胡蘿蔔

葱 ねぶか。ひとりじ。

枯世

朽野(クダラノ) 百済野ト混 冬木立 秋ハ木立 雑也 寒菊 冬さく

水菜 又春也

鷹 鷂をとらう 兄鷂このりハ雄也 雀鷂(スメダカ) 雀鷂 全雄なり 隼(ハヤブサ) 鶺鴒(ノセ)

鷂(ハイタカ) 隼ノ雄なり 鷲鷹 ぬくめ鳥をとる 鵟(サシバ) 小隼 角鷹(クマタカ) 鶚(ワシ)

かしこ鳥 たかの異名 鷹匠(タカゼウ) 追鳥狩 鳥叫(トサケビ)

翦鷹(ソレ) 偸立鳥(ヌスタタ) ぬき立鳥 そら音

落草 たか鳥をおとしたる処の草也 力草 たか鳥を摑ミ草を種に寄せ ぬくめ鳥 列卒縄(セコナハ)

鴨鷹 鷹犬 狩杖 狩場

[illegible](サブレサス) 鴛鴦(ヲシドリ) おしの衾、おし鳴ハ冬也 画ニ夏也 おしハ秋也 鳧(カモ) 白かも、黒かも すゞ鴨さだめも。

あぢかも 鳧巴 鸐鵇 二品 あぢかもト訓ス あぢの村とり 沈鳧 真鴨(マガモ) 小がも 阿伊佐。水鳥 うきね鳥

誘るかも鳥ハ 鶏なり 鵆(チドリ) 川千鳥 むら千鳥 浦千鳥 磯ちどり 濱千どり 小夜ちどり 声を伝ちどり 夕波千鳥 友鵆

千鳥足ふりくる。木兎(ミミヅク) 夜興引 みそさゞい

花鶏 木居ハ春也 竹筒(タツベ) 網代守 納代人。

柴漬(カヘドリ) 網代 ろうのびろ木。

綾取 生海鼠(ナマコ) りりこ、こゝど。金海鼠。串貝(クシガヒ)

牡蛎（カキ）　河豚（フクト）西施乳（ふぐ汁）　鮒（イサヽ）、　鯨（をうどら）

鯢（めらぐら）　勇魚取（イサナ）　鋑突（モリツク）　鍋焼（枚やき。貝やき。）

塩鱸（シホタラ）　海鼠腸（コノワメ）　凝鮒（コゴリブナ）　煮凍（ニコゴリ）

風炉吹（フロフキ）大根　そだ汁　納豆汁（ナツトウ）　鶏卵酒（タマゴ）

生薑酒（シヤウガ）　紙衣（カミコ）　綿衣（ワタコ）　綿（唐ゑ。おゑ。筵ゑ。束わと。）

肱（ゑ。ゑ。ゑ。）　綿入（布子）　衾（厚ぶすゑ。あなぶすゑ。小衾。紙ぶすゑ。古きふすゑ。）

短日　冬さらし　冬の麻　虱

雪車（ソリ）（雪車をつむ）　雪屐（クツ）　綱貫（ツナヌキ）　棧（ちりぢき）

十一月

黄鐘律　大雪　節　冬至　中　仲冬　周正

霜月　一陽　辜月　天正月　復月

霜ふり月　暢月　神乐月　子の月　今星

霜こもり月　霜見月　雪を書　冬半

冬至　暦ハ奏朔、　暦賣　宮線を添

履襪（クツタビ）を献（冬至）　赤豆粥（アヅキノカユ）（冬至、）　袴着（帯とき。ぐさぞめ）　髪垂（宮糸り）

甲子祭　相嘗祭（アヒムベ）（上卯）　宗像祭（ムナカタ）（上卯）　杜本祭（仝）

當麻祭（タヘマ）（仝）　梅宮祭（仝）　當宗祭（マサムナ）（仝）　松尾祭（仝）

中山祭 仝　三嶋酉ノ市 中酉　卒川祭 上酉　大原野祭 中子

日吉臨時祭 中申　吉田祭 仝　園韓の両祭 中丑　山科祭 上巳

春日祭 十四、御祭 廿七、仝 多かけ　日ノ使 仝　後日能 廿八、仝上　平野祭 上申

五節舞 中巳　帳臺の試 仝 五節の時天子帳臺に出御ハ並衣に指貫を着しこれに天子指貫を召給ふハ此外になし

殿上ノ淵碎 中寅　童女御覧 卯、　鎮霊祭 中寅　新嘗會 中卯

豊明節會 中辰　まとしの稲を神にそなへ給ふ　鵜の使 交替の雑子をめさるゝ使なり

鵜祭ノト　加茂臨時祭 下酉 北祭　東三條御神樂 十七、

里神楽　山神楽　小忌衣 奈服、小忌まさり衣、小忌竹 桐文、小忌ノ袖、山わゐのそて

日蔭の糸 はかけ かつら　心葉　神おとひの哥　阿知女

神乐哥　庭燎　採物の哥 梯、幣、杖、篠、弓、釵、杖、片折、諸拳、葛、袴

韓神謡 千女 まこと　大前張 宮人、木綿して、鬚波浮、前張、階香取、井奈野、照母古、

小前張 薦枕、閑野、殘多、篠波、殖槻、總角、大官、湊田、蛬、　ほ火燒 おほたき

星諷 きくまくどくせにこゆふにくる、ゆるわ、ほとの、ゆゑそ、おほくらゝ、ま弱、ほついとの、ほ不かつし、　吹革祭 八、

新玉津島の火燒 十三、　空也忌 十三、　曉拝扣

道陸(ドロク)神 十六、セツ、天王寺村 乃祇神ハ猿田彦
報恩講 廿一、ヨリ 廿八、マテ
大師講 廿一、ヨリ 廿四、マテ
智恵(チエツ)粥
宇賀祭 晦、洛
山の神祭
歌舞岐(カブキ)足揃
顔見世 芝居連見
子燃心
深雪
寒念仏
寒垢離(コリ)
寒造
寒声
冬至梅
太山榕(ミヤマシキミ)
新生姜 志ゆうが城
寒苦鳥
杜父魚(カクブツ)
鰤
茱喰
沢庵漬製
寒、茱製
御鷹鶴
御鷹の雁

○追加
葛西花又村大鳥明神祭礼 酉ノ、エド運の神ニ小さ紀熊手を賣
冬奉公人ある
隅田川三圍長命寺王子上野向岡日ムシ飛
鳥山目白不動雪京
蛎飯(カキハン) 仝雜粥
たどん

十二月

大呂律 小寒節 大寒中 師走 臘月 季冬
除月 凋年 急景 殷正 窮月 霜蟾
極月 春待月 弟月 三冬月 暮冬
梅初月 乙月 ひしまつ月
乙子朔日 弟児 乙子の餅
寒ゆ入
寒ゆ
寒月
臘日 辰、
忌火御飯(インコノゴハン) 朔、大神祭 上卯

天智天皇御国忌三、アフミシガ崇フグシ
御躰御卜奏す 月次(ナミ)の祭十一、
かづけ給ひ仏名の時等所所僧々下さる
星仏賣十三、日月七曜の像を画きうる
御髪(ミグシ)上ケ下ノ午 土午童子の像を立大寒の日御来たる
内待所の御神樂
正月事始十三、 衣配(キヌクバリ)
温糟(ウンザウ)の粥(カユ)八、 臘八 猟八粥
神今食(ジンゴジキ)十一、 御佛名(オブツミヤウ)十九、ヨリ廿一、マテ
柏梨(カヘナシ)の勧盃(ケンハイ) 年終の魂祭廿、夜
事始八、むつけ 荷前(ノザキ)の使十三、
着飾の政
最勝寺灌頂十五、
大徳寺開山忌廿二、山シロ紫の〻者

和布苅(ツカリ)の神事 晦、ナガト
吉田ノ大祓セツ分 厄塚を建ル仝
鬼を外福ハ内 柊賣ひらぎまれ
鬼の豆打 豆をやれ手の豆
厄祓(ヤクハラヒ)厄おとし 浅草寺年の市十八、
船神祭 除夜(ヂヨヤ)廿、
歳暮年の末年の終年の尾年の湊まる急く惜むとし年の限り
いぬる年年の際年のまて流るゝ事まちかきとし満年の別守歳
斎宮の繪る仝、イセ
追儺(ツイナ)廿、鬼やらひなやらふ大全人鬼をつとむ夜上人号を追ふ
なよしの所挿(サス)豆を燉(イル)
節分とし城 年内立春(ハルのまち)
浅草観音追儺 除夜ヶ七、
晩歳 餽歳別歳 行歳除歳

年の名称小卅、手仕舞大三十、
私大奥ノナンブの人十二月小の時ハ元、を以卅、ことに故ニ名つく
分歳
春を隣
節季ハ胸搞、煤掃まく拂、うばら、まくとり、
札納め
かまどを祀
餘つき
もち花
餘莚まむしろ、莚うり、
米洗ひ
鳴子舞
宝船
貘(バク)の札
ぢくの枕
手忘れ
年孫市神杉変うり、穂長うり、ゆつりなふ、かやうちくり
手ぶりあ、ぶ竹、かざり縄、手まり、手桶、張ごだるまほうらいかさりもの
飾り松賣
門雲いとなむ
年木樵(コリ)とし木
星祭節分大卅、の夜七曜星を祀る
古暦、こよみ納、大菴暦、

まさきえつる暦、ぶよみのすゑ
春を待
年籠とし糸り
掛れ、かけ乞
節季
三冬当る
岡見
逆蓑(サカサミノ)
大原の囃喉(ザコ)子森手の夜山シロヲタギ郡
歳蔵市大卅、夜エド処ト
王子ノ鬼火(キツ子)仝、エド
終年(ヲフとし)年の夜、としな
孟宗竹(マウソウ)筍生ス
早咲梅桂まむめ
臘梅
寒梅
年梅
八ツ目うなぎれ
蓑和田鯉取寒鯉寒鮒
鮭(サケ)塩引
うら鮭
塩鰹
口塩鱈

鵲（カサギ）始て巣を作　鷄乳（ツルム）　鯛みそ　豆腐蒟蒻氷ル

長崎の桂（ハシラモチ）餅（ダイカグラ）　和おきサキ年の名に餅でなの枝をまきこりた箋去の火ぼうは

年の夜の太神楽（大卅、エト）

○追加　年の市　廿一、神田明神　廿二、廿三、芝神明　廿四、芝ほうこぶ　廿五、平川天神　其外処々　表多有

神田明神年越ならひ　其外処々　神社

亀戸天神、鬼やらひ　節分エド

下谷五条天神ならをけ餅おほ

非季詞

神　諏訪祭　祭礼年中七十余度ありて故に季に非ず　兼ふ事ハ神　梅の宮

婆利塞女　年迄ハ春ナリ　落葉宮

釋　鹿野園（ロクヤヲン）　負徳云ふの宮といひ勺体ニよりて秋なるべし　妙法蓮華　僧尼薮花びら

柳柳観音　雷山寺子　雷山と半も雑ナリ　天竺に雷有山ナリ

天　いなづまり　稲づまハ秋之電光（デンクワウ）と声にていへ勺体よりて稲づまにもなるべし　初風　初ほうしハ秋ナリ　初風ハ雑ナリ

雷　初ぐもなりハ去なり　霞谷　霞冥　獺　獺月ハ春　虹（ニジ）　日蔭（ヒカゲ）

地 和泉国　放生川　干汐　櫂川　黄泉

柳ヶ浦 柳の水　柞(ハツ)の森 柞ノ山　橘の都　菱原都

落葉山　木葉里 木葉沖　菜摘川　富士電 清ると云ハ反之

志賀山越 塘川沙ヶ百里六ヶ里三ヶ合ヲ云ヒ 春の影に出ヲ云ヒ 歌ニハ雜之　鶯塚

生 鹿の角 志ヶの皮 麻毛の筆　藻ニ住虫　みの虫 鳴といへど秋なり

鳴 円巣 浮ヶ　かいつむり　玉虫　それ也 鶏

鶏の巣　鷹の巣　鴎　鶯 鶯 鴨

都鳥 いせぬきうの体ハ反之十六枚日記ニハ秋なり貞徳ハ雜なりと云ヒ　らんぼう 秋津也貞徳ハ雜なり 又秋ともいへり

かげろふ 蜻蛉 又秋尺　かし鳥　せき雀毛の白月毛尾花毛 鳥木のうへなり

黒牡丹 牛の名なり　鉈　蜘(クモ)の巣　鮒　鯖

鴨の羽盛　うまい 干かれ　鰯(イワシ)　干魚の類

植 花の紫 花の紫の句ハうえさふすゝ只今ハ見るやうにハすべからずすし 現在ハ紫ふとあらくてうんさんの句あらハ秋の花草むなど

ふて正花に非ず 秋あるべし　蔵(シゲ)ミ 志げる 上反之　和布　桜(エ)の木

梨木(ナシノ) 花トハ実トハ云ヒ 性なりしぶるハ雜之　柏　椋　千草 百草

菜種 荷ハ秋　菜畠　殘菜 搗ハ去之　忘草（ワスレ）

浅芽（アサヂ）　松　杉　櫻木板（ハン）　椿 花ハ去

むぐら 花ハ反之　櫻の花 志きこと不咲ハ花あんハ去之　くちなし

木の葉 枝不有てちらね 勾体あらハ雜之　海こも　うせざ 麻といそぐ 秋之

藻　くるこ　黄菰　むぐら　蓬生

まゆふ　田を他　桔の池　海 海ハ去ことくり。むしろこと。たま

とくさ　柿の混　枯木立

人　未搗花 老僕の良る あらハ雜之　夕顔の上　空蟬の君

柳下恵（リウカケイ）　梅林和尚（バイリン）　花嫁 花聟　苗裔（ベウエイ）

蒲反　桜町反　根麻 伏のる

食服　菜飯 菜雜事。干菜。菜汁。干かぶら　茶の花香　花がつか

煮梅　梅干 いまふと云ハ去梅干スハ反　干蕨　干瓢（カンヘウ）むくハ反之

いり豆 こそ豆。るの豆。餅つく もちつきト云ハ冬之　赤小豆粥 祝ふと云ハ季之 あづきがゆ一半雜

栗　ひえ　さび　芥子　かし　麦　そば 皆雜

霰餅　鶉餅　桔餅　葛餅　粟餅　蕨餅　ちまき柏

ゴマヤヘ
杓麻和　茉稚芍茉、橘皮、まくしい、枳実、まえ、ぼ雜之　かくし　鮓　濁酒

塩辛　蛸タコの様煮　葛袴　志のぶ摺　芯のほうし

花田久　くちなし染　曙布サラシヌノさらして つくり　霰地の綿

紫かけぶとん　經かさびら

人事　詞の芯　肥桂ひ　魚のもみぢ　頭の重

眉の霜　寝汗　病汗　呂のしらべ　駿河絲

求古　橡トチ木との泪　目星の芯　屑の骨ひぢりわみ人の甲せしまり

茂原氏　節令　柳文柳子厚文集　様人

雜器　梅壺ツホ　柳営　柳営ハコ　柳様　花志壺　菫レンゲ花生オフの壺

梨子壺　ひらま釜　笋皮笠タケノコガサ　絅代屏風

絅代笠ひらぐ車、絅代輿、ひらぐ笠　花ぬり　む形　花かもらけ　浪花

花丁子　灯の花　年の花　茂つなつら　蕨縄

唐国　軍配堂　霧扇　礼扇　余ハ居し皆く漸てこれ畧に右にて考へ知るべし

正花の部　花の匂心得

春

花いかだ 水逢　花の渚 水辺に飛ぶ　花の波 日上　花の面 浮物に作らば

花の雪 日上　花吹雪 日上　花の雲 聳物に非す　花法 神祇に

花がこゝ 釈教なり　花皿 上に日し　花の友 人論に　花守 日上

花の主 日上　花を友 人倫に作らば　花をも釈 日上　花を主 日上

花の眉 居酒に　花の透 日上　花を眉 居所に作らば　花城隣 日上

花に櫛 附る名あり　櫛に花 附べからば　花に櫛 七句去に花によし此は付べからば吉野に花付てよし

夏

余花 沙花は春に　花紫の花 すゝ紫の花は春に　氷室の花　花つゝ 釈教あり

附鳥に花をむすふ句 右いつれも植物に三句去

秋

花火 夜分に　花の踊 日上　花相撲 植物に非ば　花灯籠 夜分

冬

帰花 植物に　餅花 含釈にもち花は植物に二句去も外いつれも植物に三句去

寝衣 正花

花衣 衣類あり　花の袖 日上　花は春 歳且なり　年の花 日上

花の顔 庶あり　花は姿 日上　花うつゝ　花の顔　花ぐろ

花に月露に 猶ふ句春に　織物の花　絵の花 右いつれも植物に二句去す越嫌也

雜の正花之部

作り花 植物に作れば 花結ひ 同上 花塗 花靱 ウツホ 花形 植物に非ずして ブミなどにいふ

花かいらぎ 鞘鞍に撲ハナガ 花香 菓の花香 含ありなり 花子 狂言ハ人論 焼花 トモシビノ 枳分

花がつを 食 花毛氈 モセン 花莚 ムシロ 花嫁 人論 花聟 同上 花の詞

云語 花やか 同上 花もみぢ 雪月花 月花の座を傳べし いまとも植物に云勾去

戀の詞

戀 逢恋 待恋 君し 別し 恨し 待ある恋 絶る恋 絶てえし恋 必し 必ずある恋 笑し 待ある恋 哀恋 恋ごろも 恋奴 恋菓

泪 情 恋慕 しらふ かこつ 愛 妬 子女 恥ハヂラ ふ ふ ふ ふ ふ

男 ナブル 嫩 ウハナリ 私語 サヽゴト さゝ事 むつ云 難面人 ツレナキ 後めたし 恋病 ふるひ

人目の関 ひかせ ひかねせ 蜘のおこなひ 艶出 フミ 文 玉章 二道かける

垣間見 濡衣 ヌレ かさ 明る皆 法まづく 弱 恋の占

後朝 きね ぐ さらぶ 垣 錦木 そらそのめ 仇 伊達

春心 物ゝ 誓 恋の歌 ねぎ ごと 端まつり 多祝ひ

つ内扶 ひとち常 神のうつり 雪 妹背 いのる神 ちぎり むすぶ神

ねうぐれぎ　夕げ（ゆうめし）　お酒（おちょうし）　門（かど）　長酒（ながざけ）　うるき　名（な）
たろん男　陽森（ようしん）　わざ物（もの）　妹（いもうと）　孤（こ）　こゆの　さや
ふり神　あざ物（もの）　おとうと　ふるまう　坊（ぼう）　ちん気（き）　ふりめ
あでまふる　彩（いろど）まる　初（はつ）せいのる　妹（いもうと）　名（な）　ふりめ
あるね　をまさう　九びくひ　乳（ち）後家（ごけ）　夫婦（ふうふ）　触（さわ）
てくけ（手巾）　めうる
翠帳（すいちょう）紅閨（こうけい）　洞房（どうぼう）　肉陣（にくじん）　閨中（けいちゅう）　美人（びじん）を画（えが）く　ひぢえ（井守宮（いもりのみや）の異名（いみょう））
後宮（こうきゅう）肉屍（にくしかばね）
返魂香（はんごんこう）の香（かおり）　黛（まゆずみ）　眉掃（まゆはき）べに　的（まと）
花街（かがい）廓（くるわ）　男色（だんしょく）　雛姦（ちごあそび）　稚児（ちご）　舟（ふね）
色里（いろざと）　妓家（ぎか）　美少年（びしょうねん）　かげ子
妓門（ぎもん）　妓家（ぎか）　月楼（げつろう）　妓女（ぎじょ）　浅妻舟（あさづまぶね）
娼門（しょうもん）　浮（うか）れたけ　ほの

傾城（けいせい）　ぐつ　白拍子（しらびょうし）　うるめ　妓女（ぎじょ）　娼女（しょうじょ）　おやま
ふね　女郎（じょろう）　よね　女（おんな）　たろん　妓女（ぎじょ）　生女（しょうじょ）　夜発（よだち）　辻君（つじぎみ）
了髪（かぶろ）　柔（やわら）　小三板（こさいた）　女楽（おんながく）　歌舞妓（かぶき）　女（おんな）　芸者（げいしゃ）　着（き）
牽引（ひきこみ）　カヨフ　舞姫（まいひめ）　女（おんな）　芸者（げいしゃ）　着（き）　げんざ　きいこ　鴉（からす）　老（おい）　子（こ）　封（ふう）　間（あいだ）
男けい去　白眉神（はくびしん）　妓院（ぎいん）　小（こ）　私窠子（しかしバイコ）　飛子（トビコ）　老（おい）　男（おとこ）
伽やらふ（えどふ）　まんぢう（くわし）　七八（ななやつ）　ぴんちよ（ぴんちょこ）
密男（かくれオトコ）　間夫（まぶ）　妹許（いもうと）
暁傘（ムスブガカミ）　神媒（なこうど）
非名門（ひめいもん）　あくた　後家（ごけ）　弟女（おとうとめ）　ゆうな　なこうど　陰子（かげこ）　陰
乙女（おとめ）　下女（げじょ）　茅（かや）　梯（はし）

月令心得

秋 いさよの月 二十日の月 夕月 暮乃月 九月は秋なり 三日月も
秋なれば三日月 と斗夜なりなり
有明 入 秋なれば飛ぶ と斗 秋なりなり
月の氷 水辺に 飛ぶ 月は雪 ふりぬに おとれ 月の霜 上に 月の桂 桂物を おとれ 月の出汐 水辺の秋 なりなり
月に姨捨更科 付べ うけ 姨捨更科に 月 付て吉
月に夜の字 おとづるべし 月に衣 おとづるべし

月の異名 玉兎 玉蟾 常娥 孀娥 桂影 氷輪
氷鏡 金波 玄兎 銀盤 桂男 待宵 十六夜

立待 居待 廿日亥中 さくらえ をとこ これは秋なりいづれも雨の 月に用ゆ可

春 朧月 月霞む 春の三日月 春の夕顔 月に花
月に春の京物むすびよろしき

夏 月涼し 明安き月 夏の霜夜 夏の京物むすび よろしきなり

冬 月氷る 水辺に さゆる月 寒月 月さむし 冬の京物 むすぶる句

雑 真如の月 心は月 胸の月 此外月の有に 用ゆ秋なれば

月にあらぬもの 月草 月読の宮 月卿雲客 星月夜 月次の月
月毛の駒 月輪寺 ・月の字を表の月に入る

去嫌 植物 三勺去木草と ふりけれハ二勺去 生類 三勺去魚鳥虫と ふりけれハ二勺去 神祇 三勺去

釈教 三勺去 戀 三勺去 無常 三勺去 述懷 三勺去 人倫 二勺去

衣類 三勺去 食類 三勺去 飲食と ふりけりて二勺去 夜分 三勺去 居所 三勺去

降物 三勺去ふりけりて二勺去雪と雪ハ折去 夏と夏ハ折去霧と霧ハ三勺去 聳物 三勺去ふりけりて二勺去雪と雪ハ三勺去

天象 二勺去ふりけりて二勺去月と月ハ 表と去日と日ハ三勺去星ハ只一勺 風体 二勺去 名所 二勺去

旅体 三勺去字去トハ三勺去之 折表をうへても三勺去之

山類 山 峯 嶽 岨 谷 峠 麓 高根 岫 関 岡 畑 嵩 坂 尾上 汭 九折 瀧 炭竈 梯 嶌 山姥

非山 吉野 三嶌 山 筏 山鳥 岩屋 仙人 杣人 越路 滝川 猟人 裾野 氷室 猿山 鳩

水邊 海川 浦 江 濱 沢 沼 橋 渋 覓 樋 跨 池 瀬 汐 潮 洲 溝 堤 湊 流 淀 淵 渚 岸 沖 津 筏 浪 汀 泡 筏魚 海士 梁 漁火 浮木 海草 清水 布 晒 舩 岸 井戸 氷 みをつくし 放生会 水鳥 貝 網 川 狩 泉 蛇籠 汐汲 塩竈 蓮 藻 ひやめ かれつばた

非水邊 月の出汐 ちゝ川 罠 おもひ川 笹や 岩船 住吉 なにはえ 鴨 みつせ川 つらゝ 伏水 田 苗代 新の水 かきくき 橋 さゝ浪

神祇 社 ほこら 宮居 千木 鰹木 鳥居 拝殿 法供 殿 神子 宜祢 かんなぎ 長官 法師 神乗 法秡 神輿 市殿 祭 注連 絵馬 法幣 大ぬさ 柏掌 洗米 よるべの水 初穂 小忌衣 法火焼 切生 松玉 東遊 乙女子 神馬 祝詞 贄 襴 チヤ 三寸 菱米 榊 玉垣 起請 御立 巫 東ふ祥

非神祇 恵方 年治 橋姫 佐保姫 男山 誘神 誘宍 紫鳥の神

非述懐 残山 殘月 岑寂 雲霧 旅雁 山住 古寺 翁榮の戸尉 中務 町屋 奉坂 喪中 夕月 稲光 芦火 明方 灯 雲井月 一夜酒 三月出 虫の声 あるじ 行末 残月 ながめ 戸ざす 不及

非夜分 月星 明星 曙 宵 霞 七夕 七夕祭 稲妻 狐人魂 蒲団 床 蛍 籾 埋火 明方 まめく 編物 寒き 神楽 日待 横雲 初秋 涼し 辻君 ねつき 灯 雲井月 夕月 稲光 芦火 明方 一夜酒 三月出 虫の声 あるじ 行末 残月 ながめ 戸ざす 不及

人倫 帝 太子 皇女 李陀 新陀親王 門跡 大君 大名 一門 人間 奉行 地頭 代官 長老 和尚 坊官 素人 夫人 道人 科人 守護 二人 俗民 百姓 大工 且那 私曲 主君 附守 乃至 名主

非人倫 帝 太子 皇女 李陀 新陀親王 門跡 大君 大名 一門 人間 奉行 地頭 代官 長老 和尚 坊官 素人 夫人 道人 科人 守護 二人 俗民 百姓 大工 且那 私曲 主君 附守 乃至 名主

居所 社寺堂 皇居 内裏 伽藍 霊社 戸 築山 柱 市場 町 里居

非居所 社寺堂 皇居 内裏 伽藍 霊社 戸 築山 柱 市場 町 里居

釈教 諸経の名 寺院の名 僧の衣名 論義 法問 観念 悟道 仏 諸宗の名 法名 念仏 入定 仏子 女名 禁足 禅定 五戒 破戒 持戒 血脈 護摩 杜杖 錫杖 因果 六道 極楽 地獄 引導 来迎 行道 赤飯 非時 五輪塔 婆 灌頂 発心 行堂 五結 獨結 木魚 鉦 笈 衆徒 尼 法師 坐具 順礼 精舎 和讃 功徳 流傳 画記 医者の釈名 墨染 紙 関伽 墨染の袖 経 灵 昭女 諸職人の釈名 三世日授 学文の釈名

非釈教 坊主 落飾

無常 多紀 あぐ 人の死 人魂 棺 死出の山 卅九餘 人の弔 食 衰 袈裟 卅七廻 三途川 葬礼 墓 四十九餘 古さふすま ふるき 枕 髑髏 冥途 喪衣 追善 経帷子 灰 吊 髪 落ちくぼ 世を捨 令 供 卒塔婆 孔 やとめ 病人 治人 老 むくろ 親子 限 世渡 負 憂 食

述懐

衣類 おほこ不及

非衣類 直垂、狩衣、素袍、袴、奴袴、上下、肩衣、十袖、小忌衣、白張、浄衣、袈裟、水衣、居士衣、帯、頭巾、足袋、立付、股引、雲ノ衣、錦、鷹ノ衣、靈ノ袖、法保姫ノ衣、褥、茂衣、合羽、御半、褌、帽子、綢布、下ノ帯、衣く、七夕の衣、紙ノ衣

旅体 門出、旅立、餞別、送別、宿取、川留、馬借、問屋、一里塚、乗掛、こめ女、出立、旅籠屋、木賃、駄賃、小荷駄、沽附、蒲壺、張、菅笠、関札、狂虎

火体 烟、炭、竈、火、達、火体、燒火、煤、炉、火桶

風体 吹風、鈴、扇、團、[illegible]、花吹雪、芦の葉、荻、月のかさ、不二の烟、後ろのりかり、

聳物 雲、霧、雰、虹、烟、かけろふ、糸、[illegible]、いなひかり、

○たわらまし[illegible]

してもるべし

[illegible]庫

懐紙式

百韻

表八勺 七勺ノ月
裏十四 九勺ノ月 十二勺ノ花
二ヲ十四 十二勺ノ月
二ウ十四 初ノウニ月
三ヲ十四 二ノヲニ月

歌仙

表六勺 五勺ノ月
裏十二 七勺ノ月 十一勺ノ花
名ヲ十二 十一勺ノ月
名ウ六勺 五勺ノ花
右二折 月三 花二

七十二候

四十四

表八勺 七勺ノ月
裏十四 九勺ノ月 十三勺ノ花
二ヲ十四 十三勺ノ月
二ウ八勺 七勺ノ花
右二折 月三 花二

源氏行

米字

表八勺 七勺ノ月
裏十二 七勺ノ月 十一勺ノ花
二ヲ十二 十一勺ノ月
二ウ十二 初ノウニ月
三ヲ十二 二ヲニ月
三ウ十二 二ウニ月

易歌

表八勺 七勺ノ月
裏十二 七勺ノ月 十一勺ノ花
二ヲ十二 十一勺ノ月
二ウ十二 初ウニ月
名ヲ十二 二ヲニ月
名ウ八勺 七勺ノ花

三ウ十四 二ウニ月
名残ノ十四 三ヲニ月
名ウ八勺 七勺ノ花
右四折 月七 花四

五十韻

百韻ノ二ノ折迄
右二折 月四 花二

表八勺 七勺ノ月
裏十四 九勺ノ月 十三勺ノ花
二ヲ十四 十三勺ノ月
二ウ十四 初ウニ月
名ヲ十四 二ヲニ月
名ウ八勺 七勺ノ花
右三折 月五 花三

表六勺 五勺ノ月
裏十二 七勺ノ月 十一勺ノ花
二ヲ十二 十一勺ノ月
二ウ十二 初ウニ月
名ヲ十二 二ヲニ月
名ウ六勺 五勺ノ花
右三折 月五 花三

名ヲ十二 三ヲニ月
名ウ八勺 七勺ノ花
右四折 月七 花四

十八公

表十勺 九勺ノ月
裏八勺 七勺ノ花
右一折 月一 花一

右三折 月五 花三

長歌

表八勺 七勺ノ月
裏十六 九勺ノ月 十五勺ノ花
名ヲ十六 十五勺ノ月
名ウ八勺 七勺ノ月
右二折 月三 花三

我をうれたりめりおそ又也ひ何ぞさぞ
やかつんありなし早ぬ而ふし形ふし
濁りじ ほりほれ けめ らんらめ ときたか たそ いざ
いざいかにいかにいかそいつくいづくいつらいつ いつくいつん
なぞ なぞ なせ
ゑけせてねへめまなよそ 此分下知なり
右の外に二字切三字切大とし をまりし三段切
といふ事ありこゝに畧す余ハ宗匠によりて吟べし

短歌
表四句 月かし
裏八句 ウ稜ニ月 七句ヌ花
名ヌ八句 七句月
名ウ四句 三句花
右二折 月二 花二
千句ハ百韻ヲ半巻
発句ハ四季ヲモビ

緑蘿窓

後一齋